

第六十七回帝國議會 札幌軌道株式會社及矢作水力株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案
衆議院 外一件委員會議錄(速記)第三回

會 議

昭和十年三月七日(木曜日)午前十時三十分
開議

出席委員左ノ如シ

委員長 名川 侃市君

理事丸山 浪彌君 理事渡邊 與七君

理事清水徳太郎君

門田 新松君 岡田伊太郎君

佐竹直太郎君 清瀬規矩雄君

綾部健太郎君 永田 良吉君

小島 智善君 山本 厚三君

武富 濟君 末松偕一郎君

木曾三四郎君

同月六日委員平井信四郎君辭任ニ付其ノ補

闕トシテ佐竹直太郎君ヲ議長ニ於テ選定セ

リ

同月七日委員井上剛一君辭任ニ付其ノ補闕

トシテ岸衛君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月七日理事平井信四郎君ノ補闕トシテ丸

山浪彌君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 内田 信也君

出席政府委員左ノ如シ

內務省土木局長 廣瀬 久忠君

陸軍政務次官子爵 土岐 章君

鐵道政務次官 樋口 典常君

鐵道參與官 兼田 秀雄君

鐵道省監督局長 前田 穰君

鐵道省運輸局長 新井 堯爾君

鐵道省建設局長 河原 直文君

鐵道省工務局長 平井喜久松君

鐵道省經理局長 工藤 義男君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如

シ

議員 堤 康次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

札幌軌道株式會社及矢作水力株式會社所

屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債

發行ニ關スル法律案(政府提出)

宮崎縣營鐵道及軌道並ニ大隅鐵道株式會

社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法

律案(政府提出)

○名川委員長 ソレデハ開會致シマス、質

疑ニ入ルニ先チマシテ御報告申上ゲルコト

ガアリマス、委員且ツ理事デアル平井信四

郎君ガ辭任サレマシタ、ソレデ理事ノ互選

ヲ行フコトニナリマスガ、其方法ヲドウ致

シマスカ

○岡田委員 其補闕ハ委員長ニ於テ指名セ

ラレンコトヲ望ミマス

○名川委員長 岡田君ノ動議ニ御異議アリ

マセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○名川委員長 サウ致シマス委員長ヨリ

委員丸山浪彌君ヲ理事ニ指名致シマス――

ソレデハ質疑ニ入りマシテ、通告順ニ依ッテ

質疑ヲ許シマス

○清水委員 一寸質疑ニ入ラレル前ニ材料

ガ欲シイノデスガ……

○名川委員長 ソレデハ清水君カラ材料ノ

御要求ガアレバ――清水君

○清水委員 宮崎市カラ内海ニ至ル私設鐵

道ガアリマスガ、此私設鐵道ノ哩數ト建設

費用、ソシテ買收スレバドウ位デ買收出來

ルカ、尙ホ建設致ス場合ニハ、凡ソドウ位

ナ費用デ建設出來ルカ、建設ノ仕方ハニツ

付託議案

札幌軌道株式會社及矢作水力株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
宮崎縣營鐵道及軌道並ニ大隅鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

アリマスガ、鐵道省デ線ヲ御造リニナッデ、

之ヲ廢線ニスルノト、此私設鐵道ヲ改造シ

テ行クノトアリマスケレドモ、改造シテ建

設シマス場合ニハ、詰リ改良工事デ、私設

鐵道ヲ買收シテヤル場合ニハ金ハドノ位掛

ルカ、是ハ宮崎ノ鐵道ノ買收ニ最モ大キナ

關係ガアリマスノデ、之ヲ聽イテ置キタイ

ト思ヒマス

○名川委員長 ソレデハ通告順デ質疑ヲ許

シマス――小島智善君

○小島委員 私ハ札幌軌道、矢作水力軌道

ノ損失補償ニ關聯シタ事項ニ付テ、地方鐵

道法ノ第三十六條ノ解釋ニ付テ、少シ當局

ノ御意嚮ヲ御尋シタイト思ヒマス、第三十

六條ニ依リマス「政府ニ於テ地方鐵道ニ

接近シ又ハ並行シテ鐵道ヲ敷設シタル爲地

方鐵道業者カ其ノ接近シ又ハ並行スル區間

ノ營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタル

トキハ云々」ト規定シテアリマス、今回問

題ニナッテ居リマスル兩軌道ハ、此接近ト並

行ト云フニツノ條件ヲ具備シテ居ル場合ニ

ナッテ居ルノデアリマスルガ、併シ法文ノ規

定ニ依リマスト云フト、接近シタル場合、又ハ並行シタル場合、兩方ガ損失補償ノ原因ヲ成スコトガ、條文上明瞭ナ規定デアルト思フノデアリマス、然ラバ接近ト云フ文字ノ解釋適用ハ、如何ナル意味ニ之ヲ具體的ニ取扱フカト云フ點ニ付テ御尋シタイ、言葉ヲ換ヘテ申シマスト、地理的ニ距離ダケヲ接近トカ並行トカト云フコトニ依ッテ定ムルノカ、ソレトモ此地方鐵道ヲ利用シテ居タ所謂旅客、貨物ノ集散ノ地域ト云フモノヲ、接近ト云フ觀念ノ中ニ入レテ、此條件ヲ決定スルノカ、先ヅ其點ニ付テノ當局ノ御解釋、御意見ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○前田政府委員 只今御質問ノ地方鐵道法第三十六條ノ接近又ハ並行ト云フ言葉ノ解釋デアリマスガ、是ハ非常ニ難カシイ問題ト申シマセウカ、抽象的ニ斯ウ云フ場合ヲ接近ト言ヒ、斯ウ云フ場合ヲ並行ト言フト云フヤウナ解釋ヲ申上ゲルコトハ、非常ニ困難ダト考ヘルノデアリマス、必シモ文字通りニ並行スルト云フコトガ並行ノ條件デナイ如ク、接近ト云フ言葉モ、サウ非常ニ嚴密ニ解釋スルト云フコトハ、ドウカト考ヘルノデアリマス、ソレハ第三十六條ノ精神カラ申シマシテ、或ル地域内ノ旅客ナリ貨物ナリガ、從來在リマシタ地方鐵道ニ依ッ

テ運送サレテ居ル、サウシテ需要地ノ方ニ行ッテ居タト云フモノガ、其勢力範圍トデモ申シマセウカ、其地域内ニ國有鐵道ガ出來マシテ、サウシテ同ジ作用ヲスルト云フヤウナコトニナレバ、從來ノ地方鐵道ハ存續ノ必要ガ無クナルトデモ申シマセウカ、或ハ從來ノ地方鐵道ノ價值ガ薄ラグトデモ申シマセウカ、サウ言ッヤウナコトデ、公益上カラ見テモ、別段存續スル必要ハナイ、私經濟上カラ見テモ、存續スルニ耐ヘナイ、斯ウ云フヤウナ結果ニナッタ場合ニ、之ヲ營業廢止ヲシタ場合ニ補償スルノガ當然デア

ル、斯ウ思ヘルノデアリマス、具體的ノ場合ニ當嵌メテ、接近若クハ並行ト云フ言葉ヲ、適當ニ解釋シナケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居リマス

○小島委員 更ニ御尋シタイ、只今政府委員ノ御答辯ノヤウニ、此問題ハ非常ニ重大ナ問題デ、文字ガ非常ニ簡單デアリマスガ、併シ其影響スル所ハ、此原因ノ有無如何ニ依ッテ、地方鐵道ガ損失ヲ蒙ッタ場合ニ補償サレルカ、サレヌカト云フコトノ決定ヲスル事項ニナッテ居リマスノデ、斯ウ云フヤウナ簡單ナ文字デ、只今御説明ニナルヤウニ、此點ハ唯行政官ノ解釋ニ依ッテ決定スルト云フコトハ、少シ危カシイノヂヤナ

イカト云フヤウナ懸念モ抱カレマスノデ、此點ニ付テ具體的ニ今起ッテ居ル問題ヲ例證ニ舉ゲテ、更ニ詳シイ御説明ヲ戴キタイト思フノデアリマス、ソレハ福島縣ニ設定サレテアリマスル、東北本線ノ白河驛カラ水郡線ノ棚倉町ニ至ル、軌間三呎六吋、軌條五十封、延長ガ十四哩餘アル蒸氣及「ガソリン」併用ノ地方鐵道ガアリマスガ、此地方鐵道ノ敷設免許ハ、大正二年ニ得マシテ、大正五年カラ營業ヲ開始シテ居ルノデアリマス、然ルニ其後水郡線、所謂政府線ガ大正八年ニ議會ヲ通過致シマシテ、此線路ノ建設ヲサレマシテ、此線路ガ昭和九年ノ十二月ノ四日ニ、水戸カラ郡山ニ全通スルヤウニナッタノデアリマス、其結果ト致シマシテ、白棚鐵道ガ營業ノ收入ガ非常ニ激減シテ、現在ニ於テハ到底營業ノ繼續ガ不能ノ狀態ニ陥リ、サウシテ大正八年以來政府ニ對シテ營業廢止ノ許可ノ申請ヲシテ居ルヤウナ狀態デアリマス、其收入ノ激減シタ狀態ヲ例ヲ以テ申上ゲマスルト、此鐵道ハ大正十三年ニ得マシタ所ノ收入ノ「パーセントー」一〇〇%ト致シマシテ、比率ヲ換算シテ見マスルト、省線ノ大子驛ノ開業シマシタ昭和二年ノ三月ニハ七八%ニ減ジ、次デ東館驛ガ開業シタ昭和五年ノ四月

ニハ六三%ニ減ジテ居ル、塙驛ノ開業シタ昭和六年八月ニハ四五%ニ減ジ、棚倉驛ノ開業シタ昭和七年ノ十一月ニハ三二%、大體三分ノ一ニ其收入ヲ激減シテ居ル、勿論是ハ其省線ノ開通シタコトガ全部ノ原因デハナイ、自動車ノ交通ノ便益ガ起ッテ來タト云フヤウナコト、又一般經濟界ノ不況ト云フヤウナコトモ影響シテ居ルノデアリマスガ、併シ其大ナル原因ガ、此省線ノ開通ニ依ッテ白棚鐵道ノ旅客貨物ノ集散ノ、殆ド大半ト云フモノヲ奪ハレタト云フコトガ、此原因ヲ成シテ居ルノデアリマス、此白棚鐵道ノ問題ニ付キマシテハ、本議會ニ沿道ノ町村長カラ、政府ニ於テ之ヲ買上ゲテ、引續キ營業ヲ繼續シテ貰ヒタイト云フコトノ請願ガアリマシテ、請願委員會ニ於キマシテ鐵道當局ノ御意見ヲ聽イタノデアリマスルガ、是ハ法規上カラ申シマシテモ、亦運輸系絡上ノ關係カラ見マシテモ、政府デハ買上ゲル意思ガナイト云フコトノ明瞭ナ御答辯ガアッタノデアリマス、サウ致シマスルト、此鐵道ハ現在ノ狀態ニ於テハ、營業ヲ繼續スルコトノ出來ナイ多大ノ影響ヲ蒙ッタト云フ有様デ、現ニ先程モ申シマシタヤウニ、營業廢止ノ許可申請ガ鐵道省ノ方ヘ出テ居ルヤウナ情勢デアリマスル

カランテ、之ヲ救済スル方法トシテハ、今
同モ問題ニナッテ居リマスル、所謂損失補償
ノ方法ヨリ他ニ途ガナイト思フノデアリマ
ス、然ルニ此鐵道ノ路線ト政府線デアリマ
ス、水郡鐵道ノ線路ノ關係ヲ見マス、丁
度丁字形ニナッテ居ル、水戸カラ郡山ニ行ク
水郡線ト白棚鐵道ハ、棚倉驛ニ於テ丁字形
ニナッテ居ルヤウナ状態デ、地方鐵道法第三
十六條ニ於ケル、所謂此丁字形ノ状態ガ接
近ニ該當スルカドウカト云フコトガ、問題
ニナルデアラウト思ヒマス、若シ此接近ト
云フ解釋ガ、所謂接近デアッテ、丁字形ヲ成
シテ居ルヤウナ場合ガ、此解釋ノ中ニ入ラ
ナイト云フコトニナリマス、只今一例ニ

舉ゲマシタ白棚鐵道ノ如キハ救済ガ出來ナ
イ、而モ申上ゲマシタヤウニ、此建設ト云
フモノガ、省線ノ建設ガマダ豫想サレナイ
當時ニ、既ニ營業ノ認可ガ下リテ、既ニ建
設開業シテ居ルト云フ状態デアリマスカ
ラ、若シモ是ガ補償サレナイト云フコトニ
ナリマス、政府ハ取リモ直サズ民間ノ業
務ヲ壓迫シタト云フヤウナ結果ニナル、サ
ウシテ此白棚鐵道ノ株主ト云フ者ガ、救済
ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フ状態ニナ
ルノデアリマス、只今一例トシテ申シマシ
タガ、斯ウ云フヤウナ場合デモ、矢張此旅

客貨物ノ集散ノ關係、地域ノ關係等カラ見
マシテ、本條ノ接近ト云フモノニ該當スル
カドウカト云フコト、ソレカラ第三十六
條ノ此規定ト云フモノハ、是ダケデ——只
今申上ゲタヤウナ場合ガ屢、起ルト思フノ
デアリマスガ、十分デアアルカドウカ、立法
上ノ技術トシテ、モウ少シ詳細ニ規定ラス
ル御意見ガアルカドウカト云フコトモ、併
セテ御尋シタイノデアリマス

○前田政府委員 只今接近、並行ト云フ言
葉ノ解釋ノ問題ノ例トシテ御舉ゲニナリマ
シタ白棚鐵道ニ付キマシテハ、過般請願委
員會ニ於テモ大體申上ゲタ通りデアリマス
ガ、アノ鐵道ガ只今御話ノヤウニ、丁度國
有鐵道二ツノ線ノ間ニ介在致シマシテ、丁
度丁字形ノ形ト申シマセウカ、或ハ片假
名「エ」ノ字ノ形ト申シマセウカ、サウ
云ッヤウナ形ニナッテ居ルノデアリマシ
テ、是ガ接近ト言ヘルカ言ヘナイカト云フ
點ニ付キマシテハ、單ニ形ノ上ダケデナ
ク、色々ノ點ヲ綜合致シマシテ判斷シナケ
レバナラスト思フノデアリマス、ソレデ白
棚鐵道ガ、只今御話ノヤウニ、以前ハ非常ニ
成績ガ良カッタ鐵道デアアル、ソレガ近年業績
ガ非常ニ惡クナッテ參ッタ、正ニ是ハ御話ノ
通りデアリマス、丁度國有鐵道ノ水郡線ガ

棚倉ノ方、郡山ノ方ニ寄ッテ行キマスニ從ッ
テ、丁度白棚鐵道ノ業績ガ同ジヤウナ歩調
デ以テ、惡クナッテ行ッテ居ルヤウナ觀ヲ呈
シテ居ルノデアリマス、ソレデ此白棚鐵道
ノ斯様ニ業績ノ近年惡クナッテ參ッタノハ、
ドウ云フ理由デアアルカト云フコトヲ考ヘテ
見マス、無論是ハ世間一般ノ不景氣ト云
フコトモ、確ニ有力ナ一ツノ原因ニナッテ居
ル、ソレカラ省線ガ段々延ビテ行キマシタ
ト云フコトモ、其一ツニナッテ居ルノデヤナ
イカト云フヤウニモ考ヘラレルノデアリマ
ス、所ガ私共ノ方デ、三十六條ノ規定ヲ

適用スルカドウカト云フコトニ付キマシ
テハ、省線ノ開業ノ結果業績ガ惡クナッテ、
サウシテ廢業シナクチャナラス、ソレ程マ
デニアルカドウカト云フコト、ソレカラモ
ウ一ツハ、當然是ハ政府トシテ考ヘナケレ
バナラスコトデアリマスガ、其廢業ヲ許シ
マシテ公益上差支ガナイカト云フコト、是
等ノ點ヲ考慮致シマシテ、補償ヲスルカド
ウカ、隨テ此三十六條ノ條文ニ該當スル鐵
道ト見ルカドウカト云フコトヲ、判斷シナ
クチャナラス譯デアリマス、只今小島サン
ノ仰シヤイマシタヤウニ、又私ガ申上ゲ
テ居リマスヤウニ、近年業績ガ惡クナッテ
參ッタト云フコトハ事實デアリマスガ、例ヘ

バ極ク最近ノ實例ヲ見マシテモ、省線ノ水
郡線ガ全通致シマシタ直前ト直後ヲ比較致
シテ見マスルト、貨物ハ正ニ減ッテ居リマス
ガ、旅客ノ如キハ少シ跳上ッテ居ル、斯ウ云
フヤウナ傾向モアルノデアリマス、又不景
氣ガ段々回復シテ參リマシテ、經濟界ガ常
態ニ返ッタ場合ニ、是ハドウナルカト云フコ
トモ、能ク研究スル必要ガアルト思ヒマス
ルシ、ソレカラ鐵道ノ仕事ハ、旅客貨物ノ
數量ノ減リマシタ割合ダケ營業費ガ減ルト
云フ譯ニハ、無論參ラナイノデアリマス、ケ
レドモ、併ナガラ若干ヤハリ旅客貨物ノ輸
送數量ノ減少ニ伴ッテ、多少ノ經費ノ節約ハ
出來ル譯デアリマス、左様ナ點ヲ始終考慮
致シマシテ、果シテ將來存續スルコトガ出
來ナクナルデアラウカドウカ、又ソレヲ廢
シマシテモ公益上差支ナイカドウカト云フ
コトヲ、目下研究致シテ居ル譯デアリマ
ス、其研究ノ結果ニ依リマシテ適當ニ處置
シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマスノ
デ、御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレデ只
今接近並行ト云フ言葉ガ簡單デアアル、左様
ナ簡單ナ言葉ヲ法律ニ用ヒテ居ッテ、ソレデ
宜イカト云フ御尋デアリマス、是ハ成ベク
精密ニ規定致シマスルコトガ適當デアアル
コトハ、大體小島サント同感ナノデアリマス

ガ、總テノ場合ニ通ジテ間違ノナイ、又有
ユル場合ヲ盡シタ言葉デ以テ、此接近、並行
ノ意味ヲ現ハスト云フコトハ、殆ド至難ノ
モノデハナイカト云フヤウニ考ヘラレルノ
デアリマス、例ヘバ並行ト云フ言葉ヲ色々
考ヘテ見マスルト、並行ト云フコトハ、距
離ハドレダケアレバソレガ並行デアッデ、ド
レダケ以上ノ距離ノ場合ニハ並行デナイ、斯
ウ云フヤウナ問題ガ起ル譯デアリマスガ、
是ハ其地方ノ色々ナ條件ニ依リマシテ、距
離ガ相當近クテモ、必シモ並行トシテ廢業
補償ノ問題ヲ生ジナイデ済ムヤウナ場合モ
アリマセウシ、相當距離ガ遠クテモ、例ヘ
バ同ジ經濟的ノ勢力範圍ニ互ッテ居リマス
ヤウナ場合ニハ、並行ダト云フヤウナコト
ニナル場合モアリマセウ、ソレカラモット細
カイコトヲ申セバ、停車場ノ數如何ニ依リ
マシテモ、並行ト云フ觀念ガ違ッテ來ナケレ
バナラスト云フヤウナコトニナル譯デ、接
近、並行ト云フコトヲ、實際ノ交通機關ノ色
色ナ場合ニ當嵌メマシテ故障ノナイ、而モ
觀念ガ決ッテシマッテ動カナイト云フヤウナ
規定ガ出來マスレバ、非常ニ結構ナコト、
思ヒマスガ、是ハ非常ニ難カシイコトデ、已
ムヲ得ズ接近、並行ト云フヤウナ、簡單ナ
文字ヲ使ッテ居ル譯デアリマス、斯様ニ心得

テ居ルノデアリマスガ、併シ幸ナコトニト
申シマスルカ、此三十六條ヲ適用シテ補償
スル場合ハ、公債ヲ發行シテ其補償ヲスル
ガ爲ニ、議會ニ法律案トシテ提出スルコト
ニナッテ居ル譯デアリマスノデ、私共ノ接近
ナリトシ、並行ナリトシタコトガ、間違ッテ
居ルト云フ場合ニハ、皆サン方カラ御叱責
ヲ受ケテ、直チニソレガ訂正サレル、斯ウ
云フ譯デアリマスルノデ、接近、並行ト云
フ言葉ハ、非常ニ簡單デアリマスルケレド
モ、外ニ致シ方ガナイ爲ニ、斯様ナ文字ガ出
來テ居ル、而モ起リ得ベキ弊害ハ、議會ニ
法律案トシテ提出スルコトニ依ッテ十分是
正サレテ行ク、斯様ナ譯デ、今日ノ所デハ
洵ニ已ムヲ得ナイコトデアルガ、大シテ惡
結果ヲ生ジナイコトデアアル、斯様ニ考ヘテ
居ル譯デアリマス

○小島委員 只今一例トシマシタ白棚鐵道

ノ場合ニ於ケル所ノ政府委員ノ御説明デハ、
少シ諒承シ難イ點ガアルノデアリマスガ、
是ハ水郡線ノ開通ニ依ッテ旅客貨物方面ニ
影響ヲ受ケタト云フコトハ、貨物旅客ノ集
散ノ狀態ヲ調査スレバ、直チニハ明瞭ニ
ナル譯デ、此點ニ付テハ調査ヲ終ッテ議論
ノナイ問題ダラウト思フ、サウシマスルト
私共ノ信ズル所ニ依リマスルト、此從來白

棚鐵道ノ御得意筋デアッタ方面ガ、政府線ニ
依ッテ奪ハレタト云フ關係ハ、是ハ疑フ餘地
ガナイノデアリマス、サウシマスルト此場
合ハ、先程申上ゲタヤウニ、ドウシテモ政府
トシテハ、其損失ヲ補償シナケレバナラナ
イ立場ニ立ツダラウト思ウノデアリマス
ガ、其際ニ救済スル方法トシテハ、繰返シ
テ申上ゲマスルヤウニ、三十六條ノ接近ト
云フコトニ當嵌メナケレバ、外ニ方法トシ
テハナイノデハナイカト思ウノデアリマ
ス、ソレニ當嵌マルカドウカト云フコトニ
付テ、モウ少シ明確ナ御答ヲ願ヒタイと思
フノデアリマスガ、是ハ法規上ノ解釋デア
リマスルカラ、此影響ヲ蒙ッタ蒙ラヌト云
フコトノ調査ノ結果ガドウナルカト云フコ
ト、法規ノ解釋上、斯ウ云フヤウナ場合ニ
接近ニ當嵌マルカ當嵌マラヌト云フ事柄ハ
別箇ノ問題デ、此際此點ニ付テノ政府ノ御
意見ヲ伺フコトハ差支ナイと思ヒマス、ソ
レカラモウツハ、接近、並行ト云フコト
ハ非常ニ簡單デ、或ル場合ニハ行政上ノ手
心デ非常ニ便利ノヤウニモ考ヘル、所謂救
済シナケレバナラヌ必要ノアル場合ニ、此
擴張解釋ニ依ッテ救済スルコトガ出來ルト
云フヤウナ、非常ナ便宜ガアル、又一步其
解釋ヲ誤ッタ場合ニハ、救済スルコトガ出來

ナイヤウナ不幸ナル立場ニ立ツモノガアル
ノデアリマシテ、此點ニ付テハ鐵道省デハ、
從來例示的ニ斯ウ云フヤウナ場合、斯ウ云
フヤウナ場合、其他ノ場合ヲ含ムト云フヤ
ウナ、内部ニ於テ一定ノ基準ヲ示シタモノ
ガアルカナイカト云フコトヲ、更ニ御尋シ
テ見タイト思ウノデアリマス、ソレカラ更
ニ大臣ニ御尋スルノデアリマスルガ、私ハ
斯ウ云フ重大ナ問題ニ對シテ、斯ウ云フヤ
ウナ立法ハ甚ダ不適當デアルト思フ、ソレ
デアリマスカラ立法技術トシテ私共ノ信ズ
ル所ニ於テハ、只今ノ政府委員ノ御説明ノ
ヤウニ、難カシイカラ出來ナイト云フヤウ
ナ意味合ノ御答辯デアリマスガ、私共ハ難
カシイカラ、之ヲ詳シク規定スルコトガ必
要デアルシ、又其規定ガ出來ル事項デア
ル、或ル程度マデハ精密ナ規定ガ出來ル事
項デアルト、斯ウ私共ハ確信シテ居ルノデ
アリマス、此點ニ付テ大臣ハ如何ナル御意
見ヲ有ッテ居ルカ御尋シテ置キタイと思ヒ
マス

○内田國務大臣 細カイコトハ政府委員ヨ

リ御答シマスガ、私ハ法ノ適用ニ付テノ私
ノ觀念ヲ申上ゲマス、只今御話ノ白棚鐵道
ノ如キ、是ハ接近ト見ルカ、並行ト見ル
カ、ドウ考ヘテモ、此地圖ヲ繙イテ見レ

バ、是ハ丁字形ヲ成シテ居リマスカラ、是ハ竝行トハ認メラレナイノデアリマスガ、ソレデヤ接近カ、斯ウナッテ來マスガ、私ハ接近、竝行ト云フコトヲ、其字句ニ依ッテ解釋シテ居リマセヌ、接近ハ何料以內ガ接近カ、斯ウナッテ來マス、小島君先程ノ御話ノ通り、假令間隔ガ遠クテモ、經濟上影響スルコトモアリマスシ、又官線ト私線トノ間ノ距離ガ近クテモ、影響シナイコトモアリマスカラ、要スルニ是ハ國有鐵道ヲ近所ヘ敷イテ、サウシテ地方鐵道ニ惡影響ヲ與ヘ、或ハソレガ立行カナクナッテ場合、斯ウ云フ風ニ私ハ實際的ニ解釋シテ居リマス、之ヲ詳細ニ規定シテシマフト、運用ニ於テ却テ經濟上ト地理上ト一致シナイ場合モアリマスカラ、私ハ今之ヲ何カ名文ヲ發見シテ全部ノ疑ヲ解イテ、實際ニ當ッテモ妨ゲナイヤウナ名文ガアレバ別デアリマスガ、私ノ今ノ考デハサウ云フ風ニ接近、竝行ト云フノハ、近所ヘ國有鐵道ヲ敷イテ、ソレデ以テ經濟上私設鐵道會社ニ影響ヲ及ボシタ場合、斯ウ云フ風ニ極ク實際的ニ私ハ之ヲ解釋シテ行クベキモノト考ヘマス、寧ロソレヲ餘リ細カクヤルト、其細カイコトニ嵌ル、嵌ラスト云フコトニナッテ來マス、却テ實際ノ經濟問題ニ適應セ

スト思ヒマスカラ、白棚鐵道ノ如キモ、之ヲ字句通りニ解釋スレバ竝行デハアリマセヌ、又接近カト云フト、是モ丁字形ニナッテ居ルカラ、或ル部分ハ接近シテ居ルシ、或ル部分ハ接近シテ居ナイト云フコトニナリマスガ、經濟上國有鐵道ニ依ッテソコニ影響ヲ來シタ場合ハ、考慮スベキモノト私ハ考ヘテ居リマス

○前田政府委員 只今白棚鐵道ガ、第三十六條ノ接近デアルカドウカト云フ御質問デアリマスガ、先刻來申上ゲテ居リマサウニ、接近ト云フコトハ、從來ノ白棚鐵道ノ輸送シマシタ旅客貨物ト云フノガ、國有鐵道ノ出現ニ依リマシテ變タ、其變タ内容ニ依リマシテ——ソレダケデハアリマセヌガ、斯ウ云フコトヲ一ツノ根據ト致シマシテ、判斷スベキモノト考ヘテ居リマス、ソレデ細カク申上ゲマスレバ、白棚鐵道ノ運シデ居リマシタ旅客貨物ガ、中ニハ國有鐵道ニ吸收サレマシテ、サウシテ東京附近ニ參ルト云フヤウナモノモ、當然出來テ參ッテ居ル譯デアリマス、ソレカラ又逆ニ白棚鐵道ニ對シマシテ、國有鐵道カラ旅客ナリ貨物ナリヲ榮養的ニ送ッテ居ル、斯様ナ部分モ生ジテ來テ居ル譯デアリマス、ソレ等ノモノヲ比較致シマシテ、サウシテ大觀シテ

見マシテ、此白棚鐵道ト國有鐵道トノ關係ヲ判斷シナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレデマダサウ云フ調査ヲ、先刻來申上ゲテ居リマサウニ終ッテ居リマセヌ、只今的確ニ申上ゲルコトハ一寸困難ナノデアリマスガ、大體ニ於キマシテ、私共ノ目下調べノ途中ノ過程ニ於キマシテハ、大體ニ於テ接近ト云フヤウナ結論ガ出ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレデ接近シマシテ、其結果國有鐵道ノ爲ニ營業ヲ繼續出來ナイ、而モ之ヲ廢止サシテモ公益上何等支障ハ無イ、斯様ナコトニナリマシタナラバ、其結論ヲ得マシタ上デ、當然處置シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ接近、竝行ノ文字ノ問題デアリマスガ、是ハ只今大臣カラモ御答辯ガアリマシタ譯デアリマスガ、此非常ニ形ノ變タ、種々難多ナ交通機關ノ相互ノ場合ニ總テニ當嵌メテ、而モ正鵠ヲ得ルト云フヤウナ規定ヲ設ケルコトハ、先刻申上ゲタヤウニ非常ニ困難デアラウト思ヒマス、適當ナ文句ガ見付カリマスレバ、或ハ小島サンノ仰シヤイマシタヤウナ風ニ改メルコトガ宜イ、サウ云フ議論モ立チ得ルモノト考ヘマスケレドモ、今日ノ所デハ斯ウ云フ抽象的ナ言葉ヲ使ッテ置キマシテ、

サウシテ行政官ノ考ガ間違ッテ居ル場合ニハ、議會デ御訂正ニナルト云フヤウナコトデ進ムヨリ外ニ致シ方ナイデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○小島委員 只今内田鐵道大臣ノ、三十六條ニ對スル明快ナル御解釋ヲ承ッテ、大ニ私共ハ諒承スルト同時ニ、此點ニ付テハ安心致シマシタ、尙ホ只今一例ニ引キマシタ白棚鐵道ニ付キマシテモ、政府委員カラノ御説明ニ於テ大體諒承致シマシタ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○名川委員長 末松偕一郎君

○末松委員 本法案ニ依リマシテ南九州ニ於ケル國有鐵道網ガ益々完備シ、交通ガ改善サレルト云フコトハ、九州ノ爲ニ洵ニ慶賀ノ至リデアリマス、之ニ關聯シテ所謂關門連絡ヲ如何ナル方法ニ於テヤルカト云フコトハ、鐵道トシテモ、亦國策上カラモ大ニ考ヘナケレバナラヌ問題ト思ヒマスガ、從來新聞其他ニ依ッテ傳ヘラレル所ニ依リマスレバ、此計畫ハ餘程前カラ計畫サレテ、內務省ハ所謂架橋案ニ依ッテ之ヲ完成シヨウトシ、鐵道省ハ架橋及隧道案ト云フモノニ依ッテ、又是等ノ案ノ何レヲ採ルカニ付テハ、軍部當局トシテモ種々ナ意見ガアッテ、昨今デハ鐵道省ノ案トシテハ、隧道案ニ是ガ

決定シテ、近キ將來ニ於テ其實現ヲ圖ル爲ニ、豫算ノ提案ガアルダウト云フヤウナコトガ傳ヘラレテ居リマスガ、ソレ等ニ關シマシテ從來ノ經過、及ソレ等ノ所謂架橋案ト隧道案ノ利害得失ノミナラズ、又之ヲ「フェリーボート」ニ依ッテ、外國ノ如ク、湖水或ハ大ナル河川ヲ知ラナイ間ニ通過スルト云フヤウナ方法モアラウト思ヒマスガ、ソレ等ニ關シテ今迄ドウ云フヤウナ調査ヲヤリ、研究ヲシタカト云フコトヲ、先ヅ大體承ッテ置キタイト思ヒマス

○内田國務大臣 末松サンカラ關門連絡ノ件ニ付テ、從來ノ經過ヲ申述ヘロト云フ御話デゴザイマス、是ハ私カラ申ス迄モナク、末松サンモ既ニ大體ハ御諒承ノコト、存ジマスルガ、嘗テ大正七年ノ何議會デスカ、議會ノ數ハ何回カ忘レマシタガ、大正七年ノ帝國議會ニ於テ豫算ノ協賛ヲ得マシテ、隧道トシテ豫算ノ協賛ヲ得マシタ、ソレガ震災後大正十三年ニ取消ト相成ッテ居ルノデアリマス、詰リ鐵道省トシテ先ヅ內定致シタト云フカ、決定致シタト云フノハ、「隧道」トシテ其當時ハ決定致シタヤウニ聞及ンデ居リマスガ、其後私ノ就任前、交通審議會ニ付議サレマシタガ、ソレハマダ唯付議シテ居ルト云フニ止マルノデアリマシ

テ、一向審議ハ進ンデ居リマセヌ、越エテ私就任後、先ヅ關門連絡ヲ何トカ具體化シナケレバナラヌ、斯ウ考ヘマシテ、各係ノ者ヲ集メマシテ相談致シマシタ所ガ、即チ末松サン仰セノ如ク隧道カ、橋梁カ、「フェリー」カ、此三ツヨリ外連絡ノ方法ハ無論ナイノデアリマス、ソレニ付テ研究ヲ重ネマシタガ、「フェリー」ハ昭和十六年迄ノ輸送力ナラバ間ニ合フ、即チ今日ノ旅客貨物ノ增加力ニ依ッテ推定致シテ行キマス、昭和十六年ハ海上連絡、即チ「フェリー」ガ三十分毎ノ發着ト記憶シテ居リマスガ、若シ間違ヒマシタナラバ後カラ工務局長カラ訂正致シマスガ、時間ハ三十分毎ト心得テ居リマスガ、三十分毎ノ發着デアルトスルト、往復入替リニナリマスカラ、十五分毎ニ「フェリー」ガ通ルコトニナッテ、ソレデ關門海峡ヲ通過スル、所ガソレガ本船ノ通行ニ妨ゲニナル、殊ニ戰時御用船デモ續々隊ヲ組ンデ通ル時ハ妨ゲニナル、實ハ經濟上カラ申シマス、ト「フェリー」ガ一番安イノデアリマス、故ニ一番安イ「フェリー」デヤラウト言ッテ、岸壁ヲ殖サウト云ウテモ、其場所ガナイカラ、ソレ以上ニ「フェリー」ハ使ヘナイ、即チ昭和十六年迄ノ輸送ハ「フェリー」デ宜イ、ソレ以後ハイカヌ、斯ウ云

フ結論ニ先ヅ到著シタノデアリマス、而シテ一方內務省ハ橋梁デヤッテ居ルト云フコトハ、末松サン仰セノ通りデアリマス、ソレデ私ハ成ベク內務省モ、鐵道省モ、能ク一緒ニ相談シテヤラウ、斯ウ思ヒマシテ、內務省トモ事務官ノ相談ヲ始めマシタ、一方陸海軍トモ相談致シマシタ所ガ、陸海軍デモ橋梁デハ困ル——是ハ公式デハアリマセヌガ、橋梁デハ困ル、若モ有事ノ際爆撃ヲ受ケタ時ニ、交通ガ杜絶スルノミナラズ、破壊サレタ橋梁ガ關門ノ海中ニ墜チタナラバ、本船ノ通行ガ出來ナクナルカラ、橋梁ハ止メテ貰ヒタイ、斯ウ云フ話ガアルノデゴザイマス、是ハ詰リ話デゴザイマス、ソコデ橋梁ハイケナイ、「フェリー」ハ昭和十六年迄シカイケナイトナッテ來レバ、矢張大正七年ノ議會ノ協賛ヲ得タ當時ノ隧道說ニナッテ來ルノデ、今ノ所隧道說ガ——決定シタ、確定シタト云フ譯デハゴザイマセヌガ、一番有力デ、陸海軍モ反對ハナイノデゴザイマス、又運行ニモ差支ナイノデアリマス、ト同時ニ一方ガ善ケレバ一方ガ惡ウゴザイマシテ、隧道ニスルト、御承知ノ通り地勢ノ關係上大里ヘ拔ケル、斯ウナッテ來ルト、門司ノ繁榮ニ差障ルト云フヤウナコトデ、目下ソレニ付テ種々工務上ノ研究

ヲ重ネテ居ル、又一ツ內務省トモ是カラ交渉ラシテ、成ベク本年度中ニ、即チ昭和十年度中ニハ何トカ日鼻ヲ著ケタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、以上從來ノ經過ノ大略ヲ申上ゲマシタカラ、若シ御尋ガアリマスレバ、細カイコトハ工務局長カラ御答致シマス

○末松委員 先ヅ鐵道省トシテノ設計ト、ソレニ關スル經費ノ大體ヲ承リタイト思ヒマス

○平井政府委員 只今大臣カラ御説明ノアリマシタヤウナ經過ヲ辿ッテ居ルノデゴザイマスガ、本案ハ明治四十五年ニ、後藤總裁時代ニ、橋梁ニ付テ調査ヲシタラドウカト云フコトガ話題ニ上リマシテ、其時平井博士ガ橋梁ニ付テ調査ヲサレタノデアリマス、其調査ハ大正五年ニ報告サレテ居リマスルガ、當時ニ於キマシテ、線路ノ延長ハ哩、工費二千四百十二萬圓餘ト云フ御報告ガ出タノデアリマス、橋梁ト同時ニ隧道モ調査シタラドウカト云フコトデ、隧道ノ調査モサレマシテ、是ハ田邊博士ガ御報告ナサッタコトガゴザイマスガ、ソレガ正四年ニ報告サレテ居リマシテ、ソレニ依リマスト云フト、線路ノ延長ガ七哩、工費千三百四十萬圓、斯ウ云フコトニ報告サレテ居リ

マス、ソレニ基キマシテ大正七年ノ議會ニ於テ、八年度以降十箇年ニ千八百十六萬圓ノ豫算ヲ以テ、隧道案トシテ提出サレマシテ、四十一議會ノ協賛ヲ得テ譯デゴザイマス、然ルニ其後大戰ノ影響ヲ蒙リマシテ、物價ガ騰貴シ、工事費モ非常ニ増スト云フコトガ分リマシテ、十三年ノ五十議會ノ豫算改訂ノ際ニ削除サレタノデアリマス、其後尙ホ引續キマシテ詳シイ調査ヲシタノデゴザイマスルガ、其調査ノ結果ト致シマシテハ、橋梁ハ工事費ガ約四千萬圓、列車航送ニ致シマス場合ニ於テハ、是ハ列車ノ航送船、竝ニソレノ連絡設備費ト云フモノヲ合セマシテ約千四百萬圓、隧道ニ致シマスト三千百萬圓——是ハ工事ノ方法ニ依ッテ違ヒマスルガ、隧道式ニ依リマスト三千百五十萬圓、沈埋式ニ依リマスト千百五十萬圓、斯ウ云フコトガ調査ノ結果出タノデゴザイマス、此各案ヲ比較致シマスルト、橋梁ハ只今申上ゲマシタヤウニ工事費ガ非常ニ多ク、其上ソレノ補修費ト云フモノガ相當掛リマス、尙ホ軍事上ニ於テモ不利ナ點ガゴザイマスルノデ、橋梁ハ他ノモノニ較ベテ不利ニナルト云フ結果ヲ見出シタノデゴザイマス、ソレカラ船車ノ連絡、是ハ只今モ御話ノアリマシタヤウニ、ヤハ

リ一時的トシテハ、其場ヲ防グ爲ニハ宜イケレドモ、結局ノ所割合ニ早ク行詰リガ來、且ツソレノ經常費ト云フモノモ相當掛ルト云フコトデ、隧道案ニ較ベレバ、ヤハリ不利ナ點ガアツテ、結局隧道案ガ宜イノデハナイカ、尙且橋梁ノ如キ場合ニ於テハ、直チニ之ヲ複線ヲ以テ架ケナケレバナラス、其方ガ詰リ單線ノミ架ケル場合ト、複線ヲ架ケル場合ト、左程ノ差ガナイト云フコトニナリマスカラ、結局直チニ複線ヲ造ルト云フコトニナルト思フノデアリマス、併シ隧道ノ場合ニハ、差當ッテ單線ニ依ッテ連絡ヲ付ケルコトガ出來ル、隨テ工事費ノ如キニ至リマシテモ、一千八百萬圓デ先ヅ連絡ヲ取ルコトガ出來ルト云フヤウナ利益モゴザイマスノデ、隧道案ガ宜イノデハナイカト云フ結果ヲ得タ次第デアリマス

○名川委員長 內務省、陸軍省ノ政府委員ガ來テ居ラレマスカラ、其方ノ質問モ……

○末松委員 只今關門連絡ノ設備ニ關スル質問ヲ致シテ居リマスガ、是ハ內務省及陸軍省等ガ相當御關係ガアルヤウデアリマスカラ、特ニ御出席ヲ願フ次第デアリマス、先ニ説明致シマシタガ、元來內務省デハ、架橋說ヲ以テ相當調査モヤラレタシ、又今日ニ於テモ架橋ヲ、寧ロ適當ナリト云フ御

話ヲ承ルノデアリマスガ、內務省ノ御考トシテ、幸ヒ土木局長ガ御出席デアリマスカラ、一應御意見ヲ承ッテ置キタイ

○廣瀨政府委員 關門連絡ノ問題ニ付キマシテ、從來ノ沿革ヲ申上ゲタイト思ヒマス、關門ノ國道連絡ニ付キマシテハ、御話ノヤウニ內務省ト致シマシテハ、從來色々調査ヲ進メテ居リマス、大體ノ沿革ヲ申上ゲマスト、昭和八年頃カラ特ニ此連絡ニ付テ調査ヲ致シマシテ、サウシテ出來上リマシテ、交通審議會ニ參考ノ試ミノ案——決定案ト云フ程デハ勿論アリマセヌガ、參考ノ試案トシテ內務省ガ出シマシタノガ、橋梁案デゴザイマス、併シ是ハマダ內務省ノ決定的ノモノデハゴザイマセヌ、ソレデ尙ホ內務省ト致シマシテハ、橋梁案ト同時ニ隧道案ニ付テモ研究ヲ致シテ參リマシタ、尙ホ今日モ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、隧道ノ案ニ付キマシテハ、鐵道當局ノ有ッテ居ラレル資料ニ依リマシテ、鐵道當局ト色々御相談ヲ致シマシテ、鐵道ト併用ノ——國道ト鐵道ト一緒ナ隧道ハドウダラウカ、或ハ又國道ダケヲ單獨ノ隧道トシテ、連絡ヲ圖ッタルドウダラウカト云フヤウナコトニ付テ、目下研究ヲ進メテ居ルヤウナ次第デアリマス、隨ヒマシテマダ內務省ト致シマシ

テハ、必ズ橋梁デナケレバナラスト云フヤウナ、決定的ノ意見ヲ有ッテ居ル譯デハゴザイマセヌ、橋梁案ニ付テハ尙ホ色々考フベキ點ガアリマス、同時ニ又此隧道案ニ付キマシテモ、モウ少シ研究ヲ致サナケレバ、何分ニモ大キナ問題デアリマスノデ、研究ヲ遂ゲナケレバ結論ヲ得ルト云フヤウナコトニハ相成ッテ居リマセヌ、大體今マデノ沿革ハサウ云フヤウナ事情ニ相成ッテ居ルノデアリマス

○末松委員 此問題ニ付テハ色々私トシテモ意見ヲ申上ゲテ、內務及陸軍當局ノ更ニ御研究ト御審査ヲ願ヒタイト思ヒマスルカラ、御差支ナケレバ引續イテ御出席ヲ希望致シマスガ、陸軍政務次官ガオ出デ、スカラ、此際陸軍ニ對スル質問ヲ簡單ニ申上ゲテ置キマシテ、更ニ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、此問題ニ付キマシテ吾々ノ最モ憂ヘルノハ、此隧道ガ交通上ニ付テノ關係ハ勿論デアリマスガ、將來九州及中國地方ニ經濟上如何ナル影響ヲ及ボスカ、又最モ甚大ナル打撃ヲ受ケテ、殆下衰亡ニ近イモノニナラウト豫期サレテ居ル門司市ノ救済ニ付テドウスルカ、又下關ガ相當ノ重大ナル打撃ヲ受ケルト吾々ハ思ヒマスルガ、ソレ等ニ對シテ、ソレ等ヲ救済スル爲ニ、國

策トシテ如何ニ考ヘナケレバナラヌカト云フヤウナ點ガ、私ナドノ最モ疑問トシテ居ル所デ、從來ノ案ハ主トシテ技術者ガ設計サレタ案デアリマシテ、技術上デハコチラガ良イトカ、アチラガ良イト云フヤウナ、色々ナソレハ理窟ハアリマセウガ、國策トシテソレヲ決メル際ニ於テハ、經濟上ノ問題、地方公共團體ノ繁榮及衰亡ト云フヤウナコトニ付テ、最モ重キヲ置イテ考ヘナケレバナラヌ問題ト深ク信ジテ居リマス、ソレニ付キマシテハ、技術的ニ考ヘレバ、或ハ架橋ニ付テハ、軍部當局トシテハ、架橋ガ擊沈サレテ、海上ノ交通ガ絶エルト云フヤウナコトモ一ツノ障害ト思ヒマス、又「フエリー」ガ續ク際ニ於テハ、隨分——一日事ノ有ル時ニ困ルト云フヤウナ御考モアリマセウガ、軍部ニ於テ主トシテ此點ニ付テ御反對ノアルノハ、ソレ等ノ點デアリマセウガ、若シソレ等ノ點デアリマスレバ、或ハソレニ對シテ、例ヘバ架橋ガ落チルト云フコトモ、洵ニ稀ナ例ダラウト思ヒマス、彼處マデ飛行機ガヤッテ來テ爆彈ヲ投下スルト云フヤウナコトハ、餘程稀ナ國家危急ノ際ノ出來事デアル、又「フエリー」ノ連絡ガ絶エルト云フヤウナコトモ、若シ連絡ガ

絶エタナラバ、是ハ何トデモ救済スル方法ガアルノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ付テ所謂經濟的、或ハ財政的ニ之ヲ考ヘテ、尙ホ架橋或ハ「フエリー」デハ、到底イケナイト云フヤウナ考デ御研究ニナツタモノデアラウカ、サウ云フ點ニ付テ、陸軍ノ方トシテ主トシテ此問題ヲ御研究中ト思ヒマスカラ、陸軍當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○土岐政府委員 只今ノ御質問ニ付キマシテハ、私ハ詳細ノコトハ承知致シテ居リマセウガ、何レ尙ホ調査致シマシタ上デ御返事ヲ申上ゲマスガ、私ト致シテ常識カラ考ヘマシテモ、「フエリー」デ交通シテ居ルヨリモ、完全ナ橋梁ヲ以テヤルコトハ、交通上カラモ必要デアルト思ヒマス、尙ホ進ンデハ隧道ヲ以テ連絡ヲ保ツコトハ、防空其他ノ點カラ申シマシテモ完全デアアル、隨テ隧道ハ最モ完全デアルト云フコトハ申ス迄モアリマセウ、隨ヒマシテ只今御意見モゴザイマシタヤウニ、「フエリー」ガ擊沈サレルコトモ、非常ニ稀ダラウト云フ御意見モアリマスガ、御承知ノヤウニ近代ノ戰術ハ非常ニ進歩致シマシテ、飛行機其他航空方面ノ發達モ致シテ居リマスノデ、如何ナル災害ガ起ラヌトモ限リマセウ、隨ヒ

マシテ、最モ安全ナル方法ハ、國防ノ見地カラ申スナラバ陸軍當局ト致シマシテハ隧道ヲ以テ第一ト考ヘルヤウナ次第デアリマス、勿論經濟上ノ點カラ申シマシテ、其起點ヲ何處ニスルカト云フコトニ依ッテハ或ハ從來ノ交通ノ焦點トシテ考ヘラレテ居ル所ガ橋梁ニ依ッテ繋ガラレル場合ニ於テハ、其附近ハ從來ノ儘ノ商工等ノ繁榮ヲ害スルヤウナコトガアルト云フコトモ起リマセウガ、國防ノ見地カラ申スナラバ或ハサウ云フ地ヲ隱蔽スルト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデゴザイマス、是等ノ點ニ付テハ十分ニ技術上ノ點カラモ深く考慮致シテ設計ヲシナケレバナラヌト考ヘマス、只今ノ御質問ニ對シテハ只今申上ゲマシタヤウナ意味合ヲ以テ大體御了承願ヒタイト思ヒマス

○末松委員 先程ノ工務局長ノ御説明ニ依リマスレバ經費及設計上ニ付テ架橋ヨリモ寧ろ隧道ノ方が適當デアラウト云フヤウナ御話デアリマシタガ、今ノ御話ニ依リマスレバ、或ハ隧道ノ方が經費ガ少イカモ知レマセウ、併シソレハ單線ノ設計ノヤウニ承リマシタガ、アノ隧道ヲ單線デ通過スルト云フコトハ相當不便ガアッテ近キ將來ニ於テハ必ズ複線ニセナクテハナラヌヤウニナ

ルノヂヤナイカト思ヒマス、ノミナラズ架橋計畫ト云フコトハ自動車道路及ビ人道ト云フヤウナ、種々交通上關門連絡トシテ最モ完全ナ設備ガ出來ルト聞イテ居リマスガ、若シ完全ナ設備ガ出來ルモノトシテ最モ不完全ナモノト比較シテ、ソレニ依ッテドチラガ宜イト云フコトヲ判斷スルト云フコトハ、是非非常ニ誤リデアラウト考ヘマス、其設計ニ付テ只今ノ御話ノ金額ハ單線デアッテ、單ナル鐵道ノ輸送ノミデ、人車ノ連絡輸送、或ハ交通ト云フモノニ付テハ考ヘテ居ラヌカト云フコトヲ御聽シタイノデアリマス

○平井政府委員 只今私ノ説明致シマシタ隧道ノ經費ニ付テハ複線ノ場合ニ於テモ橋梁ヨリハ安イノデゴザイマス、且ツ隧道ニ依レバ其上ニ差當ッテハ單線デ造リ得ルト云フ利益モアルト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス、ソレカラ成程橋梁ノ費用トシテ調ベマシタモノハ是ハ鐵道ヲ通スモノトシテノ調ベアリマシテ、鐵道以外ニハ唯人が歩き得ル歩道ヲ附ケタケノ經費ナノデゴザイマス、若シモ之ニ自動車道路ヲ附加ヘルト云フヤウナコトニナレバ此上ニ尙ホ經費ヲ増スト云フコトニナルノデアリマス

○末松委員 隧道式デヤッテ若シ複線ヲ付

ケルト云フコトニナレバ、又別ナ線路ヲ付

ノデスカ

ケルト云フコトニナルモノデハナイカト思

○平井政府委員 沈埋式ノ場合ニ於キマシ

リマシテ、今ノ「シールド」式ニ依ッテヤル

テ居リマセウカ

ヒマス、其點ハ如何デスカ、要スルニ橋梁

テハ、或ル形ニ造ッタモノヲ海ノ底ニ沈メ

カ、沈埋式ニ依ッテヤルカト云フヤウナコ

○平井政府委員 海底隧道ヲ造リマス場合

デアレバ、幅ヲ廣クシテソコニ複線モ出來

ル式デアリマスカラ、其形ヲ造ルトキニ、

トニ付キマシテモ、吾々技術ノ知識ノナイ

ニ於テハ、最モ隧道ヲ通シ易イ位置ヲ選ブ

ルシ、人車ノ交通ノ路線モ造ルコトハ出來

人道ナリ何ナリヲ附ケタ形ヲ造ッテ沈メレ

者ニハ分リマセヌガ、吾々ノ多年ノ經驗ニ

ト云フコトガ必要ニナリマスノデ、其點カ

ルガ、隧道ト云フコトニナルト又一ツ複線

バ、サウ云フコトモ可能ト思ヒマス、唯併

ナニ容易ニ行ケナイシ、又設計上カラ申シ

場合ニ於キマシテ、兩方ノ接續ト云フモノ

ヲ造ル、其度毎ニ新ナル——如何ナル式ニ

シスウ云フ二ツノ式ヲ考ヘテ居リマスケレ

ナコトハ殆下想像ガ付カナイ、殊ニア、云

ハ只今末松サンノ仰シヤイマシタヤウニ、

依ルカ分リマセヌガ、其種ノ隧道ヲ又御付

ドモ、工事ノ難易ト云フコトヲ考ヘマス

フ潮流ノ激シイ海峡ニサウ云フモノヲ沈メ

リ、サウシテ大瀬戸ヲ通ッテ、大里ニ於テ九

ケニナルト云フコトニナルノデアリマセ

ト、沈埋式ト申スノハ、鐵デ形ヲ造ッタモ

ル、而モ複線ニシテヤルト云フコトハ困難

州ニロヲ出ス、斯ウ云フコトニナルノデア

ヌカ、其點ハ技術上如何ナモノデスカ

デアリマスカラ、關門ノ如ク非常ニ船ノ澤

デハナイカト思ヒマス、「シールド」式ニ依

リマス

○平井政府委員 隧道式ニ二ツ式ヲ考ヘテ

居リマス、「シールド」式ト申シマス式ト、

コトニナッテ、經費モ非常ナモノニナルト云

○末松委員 其設計ニ依リマスレバ下關市

沈埋式ト申シマス式ト二ツノ式ヲ考ヘテ居

リマスガ「シールド」式ト申シマスノハ、全

モ殆下閑却シテ、マア新ニ驛ガ出來ル、彦

島ハ下關ノ市内ニ入ッテ居リマスカラ、下關

然別個ノ隧道ヲ二ツ掘ル譯デアリマス、ソ

レカラ沈埋式ト申シマス場合ニ於テハ、是

ハ先ヅ此位ニシテ打切りマスガ、今ノ設計

トシテハ驛ガ移ルコトニナルノデアリマセ

レカラ沈埋式ト申シマス場合ニ於テハ、是

門ニ隧道ヲ果シテ使ヒ得ルカドウカ、未ダ

デハ、ズウツト下關ヨリモモウ一ツ前ノ驛カ

ラ入ルカ、或ハモウ少し前位カラ入ッテ、彦

ハ複線式ノ隧道ヲ底ヘ沈メテ行ク、斯ウ云

フ方式ニナルノデゴザイマス、「シールド」

島マデ來テ驛ヲ置イテ、ソレカラ又中ニ入ッ

テ、大里ノ近所ニ出テ來ル、斯ウ云フヤウニ

式ノ場合ニ於テハ複線デ三千五百五十萬圓、

コトモアリマス、吾々素人デ分ラヌノデア

リマスガ、何レニシテモ沈埋式ニ依ッテ複

線ヲ拵ヘルト云フコトハ、相當經費ヲ要ス

ソレガ若シモ單線デ出來マス場合ハ其半分

ルノデハナイカト考ヘマス、兎角技術者ノ

方ハ初ノ經費ノ豫定ガ十分デナイ爲ニ、色

色工事ニ付テ、新ナル工事——世ノ中ニ餘

○末松委員 人車ノ車道及歩道ハ勿論入ッ

テ居ナイノデアラウト思ヒマスガ、ソレ等

リ行ハレテ居ナイヤウナ工事ニ付テハ、非

ヲ附ケルト云フコトハ沈埋式ナラバ出來ル

常ニ多額ノ費用ヲ要スルコトニナルノデア

リマスガ、ソレ等ノ設計ハドウ云フ風ニナッ

活キ上ルト云フコトニナリマス、門司ノ

立場カラ其事ヲ考ヘマスルト、門司市ト云フモノハ御承知ノ如ク鐵道局ガアリ、税關ガアリ、其他今日海陸ノ施設ヲ爲ニ一億以上ノ金ヲ入レテ居ルノデアリマス、而モ門司ト云フ所ハ、御承知ノ如ク百年前マデハ一漁村デアッタノガ、今日ノ繁榮ヲ來シタノハ何故デアルカト云フニ、要スルニ港灣ノ爲デアル、然ルニ港灣ハ驛ト連絡シナケレバ何等價值ハナイノデアリマス、門司ニモ大里ニモ驛ガ無クナルト云フコトニナレバ、或ハ彦島ノ新驛ガ幾ラカ繁盛スルカ知レマセヌケレドモ、併ナガラ門司ト云フモノハ全然閑却サレシマフト云フコトヲ考ヘル際ニ、是ハ地方問題トシテ非常ナ大キナ問題デアリマス、門司ノ市ヲ一ツ潰シテシマフト云フ——潰スト云フト語弊ガアルカ知レマセヌガ、殆下次第々々ニ衰亡シテ、門司ノ繁華ナ位置ト云フモノガ變リ、或ハ彦島ノ驛ニ奪ハレルデアリマセウガ、甚ダ其打擊ヲ受ケルモノダト云フコトヲ信ズルノデアリマス、サウ云フコトニナリマスレバ是ハ非常ナ大キナ問題デ、私設鐵道ニ對シテ國有鐵道ガ線路ヲ新ニ敷ク場合ニ於テモ、只今色々質問ガアッタ如ク、ソレガ爲ニ非常ナ打擊ヲ受ケレバ補償スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、是ハ國家ノ施設ト

シテ、或ハ公共團體、即チ法人デアル——人間ヲ殺スト云フコトニナル所ノ非常ナ大キナ計畫ヲ立テル際ニ於テハ、ソレ等ニ付テ最モ重キヲ置カナクテハナラヌト云フコトヲ、吾々ハ痛切ニ考ヘル者デアリマス、然ルニ從來其問題ニ付テ、政府當局ガ種々ナル研究ヲヤッテ居リマスケレドモ、其種々地方問題ニ對スル研究、或ハソレガ爲ニ經濟上ドウ云フヤウナ影響ヲ及ボスカト云フ點ニ付テハ十分考ヘテ居ナイと思ヒマス、隨テ愈々計畫ガ出來テ儲テ之ヲヤラウトスル際ニ、サウ云フ問題ガ起ッタ時ニハ恐クハ政府當局ガ種々ナル言ヲ構ヘテ、ソレハ影響ハナイノダト云フコトノ爲ニ、色々ナ材料ヲ拵ヘテ影響ノナイト云フヤウナコトヲ強辯スルト云フコトハ、從來其種々問題ノ解決ニハ常ニ起ル所デアリマスガ、是ハ非常ナ社會問題デモアリ、國家ノ重大ナ問題デモアルノデス、私ハ此問題ノ如キモサウ云フ風ニナルデハナイカト云フコトヲ今日ヨリ非常ニ憂ヘテ居ルノデアリマス、隨テ政府トシテハ斯ノ如キ問題ニ付テハ技術的方面ノミナラズ、地方ノ影響及ビ經濟上ドウ云フ風ニナルカト云フヤウナコトニ付テ、十分ニ御考ヲ初ニ定メテ、サウシテ之ニ著手サレテ此計畫ヲ完成スルト云フヤウニ、

十分ナル御考慮ヲ願ヒタイと思ヒマス、其點ニ付テ鐵道大臣ハ、今デハ此計畫ヲヤラウト云フ當事者デアル、又此計畫ヲ實行スルコトニナレバ鐵道大臣ハ其衝ニ當ラレルと思ヒマスガ、鐵道大臣果シテサウ云フ點マデ十分是カラ御考ニナッテ、此計畫ヲ決メヨウト云フ御考デアルカ、其點ヲ大臣カラ承リタイと思ヒマス

○内田國務大臣 末松サンカラ關門ノ連絡、殊ニ關門鐵道完成ト云フ曉ニ於テ——關門鐵道ト若シ決マツタ場合ニ於テハ門司下關兩市ノ繁榮ニ一大影響ヲ與ヘル、ソレニ對シテ經濟上ノ見地カラシテ鐵道當局ハ如何ニ考慮スルカト云フ御尋デアリマスガ、私モ技術ノ事ハ事實全ク分リマセヌガ、經濟人トシテハ多少ノ色々苦イ經驗ヲ有ッテ居リマスシ、又兩市ノ從來ノ歴史モ多少存ジテ居リマスガ故ニ、此兩市ノ從來ノ繁榮ヲ奪フト云フヤウナコトハ、最モ注意シナケレバナラヌコトト考ヘテ居ルノデアリマス、固ヨリ文化ノ發達ニ伴レテ已ムヲ得ズ一部ノモノガ文化發達ノ犠牲ニナルト云フコトハ是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマセウガ、政府トシテハ其犠牲ヲシテ成ベク小ナラシメルト云フコトガ本旨デゴザイマスガ故ニ、隧道ガ大里ニ上ルトスレバ門司ガ寂

レル——一口ニ言ヘバ寂レル、下關ニアレダケノ設備ヲシタモノガ用ヲ爲サナクナッテ、下關ガ衰微スルト云フヤウナコトハ洵ニ私共トシテハ、技術ノ方ハ分リマセヌガ、經濟人トシテ、私ハ非常ニ之ニ付テ憂慮シテ居ル譯デアリマス、故ニ私ノ今ノ觀念ハ、國防ノ方ノコトハドウモ陸海軍デ、是ハ要塞地帶ダカライケナイ、砲臺ガアッテ其下ヲ掘ラレテハイカヌト云フコトニナルト、是ハ事實ドウモ爭フコトノ出來ナイ問題デアリマス、詰リ齒ガ立タナイ問題デアリマス、ソレカラ技術上ノコトハ、技術官ガ此處デナケレバナラヌト云フト、是亦爭フベカラザルコトデアリマス、唯經濟上ノ問題ハ、是ハ私ガ心配スレバ心配ノ效果ガアル問題ト思ヒマスカラ、即チ此點ニ於テ特ニ私トシテハ留意ヲシ、實ハ之ヲ決メル前ニハ、成ベク近キ機會ニ於テ、係官ヲ帶同シテ現地ニ參リマシテ、若シ此處へ隧道ガ出タ場合ニハ此處ヘドウ云フ影響ヲ及ボスカ、又少少費用ガ餘計掛ラウガ——固ヨリ費用ニ付テハ制限モアリマスガ、少々費用ガ餘計掛ッテモ門司下關兩市ノ繁榮ヲ奪ハナイヤウニ、又多少鐵道ニ不便ヲ來シテモ門司下關ノ繁榮ヲ奪ハナイヤウニト云フコトニ付テハ、深キ留意ヲ以テ臨ム積リデアリマスカラ、

又ソレニ付テ御當地ノ方々、及ビ末松君ハ其邊ハ能ク御分リデアリマスカラ、御氣付ノ點ガアツタラ宜シク御指導ヲ願ヒマス

○末松委員 只今鐵道大臣ノ明確ナル御答辯ニ依リマシテ聊カ安心致ス次第デアリマスガ、次ニ御尋シタイノハ、此從來ノ架橋計畫及ビ今回ノ隧道計畫ハ、何レノ負擔ニ依ッテヤルカト云フコトデアリマスガ、恐ラク鐵道省今回ノ隧道計畫ト云フモノハ、鐵道特別會計ノ負擔デヤルト云フコトデハ無カラウト思ヒマスシ、ソレカラ元ノ架橋計畫ニ付テハ或ハ一般會計モ相當出ス、都合ニ依リマシテハ地方トシテモ相當經費ヲ出スト云フヤウナコトデアッタノデハナイカト思フノデアリマスガ、其點ニ付テ政府ノ御答辯ヲ願ヒマス

○平井政府委員 先程來申上ゲマシタ色々ノ工事費ト云フモノハ、是ハ鐵道自體トシテ必要ナ設備ノミヲ造ルト云フコトニ於テ作ラレタ工事費デアリマス、隨テ架橋ノ場合ニ一部ヲ地方デ負擔スルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ

○末松委員 今ノ架橋ノ問題ニ付テ、若シ内務省ノ政府委員デ御承知デアレバ、今迄ノ經費ヲドウ云フ風ニシテ支出シヨウト云フ考デアツカト云フコトガ御分リナラ

バ、御答辯願ヒタイ

○廣瀨政府委員 此前ノ鐵道デ作りマシタ架橋案ノ經費ノ支出方法ニ付テハ、私ハマダ調べテ居リマセヌカラ存ジマセヌ、唯併シ斯ウ云フコトニナルノデハナイダラウカト云フヤウナ感ジヲ有ツノデアリマス、若シ國道ノ連絡ヲモ、鐵道ノ橋梁ナラ橋梁ト一緒ニスルト云フコトニ致シマスレバ、國道ニ要スル分ノ負擔ハ、矢張内務省ノ經費デ支出スルト云フコトニナルノデハナイカト思ヒマス、サウナリマスト矢張國道ノ普通ノ經理ノ方法ニ依ルコトニ、大體ノ原則ハナルノデハナイカト思ヒマス

○末松委員 時間モ經チマスカラ質問ハ最早打切りマスガ、此問題ハ御承知ノ如ク、相當ナ經費ヲ要スル問題デ、其經費ヲドウ云フ風ニシテ支出スルカ、又經費ノ支出ト此事業ノ必要ト云フモノガ、果シテ均衡ヲ得ルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ國策上大ニ研究シナケレバナラヌコト、思ヒマス、吾吾九州地方ヲ代表スル衆議院議員トシテハ、成ベク完全ニ此種ノモノヲヤルト云フコトモ、洵ニ望マシイノデアリマスケレドモ、併ナガラ世ノ中ノ議論ヲ聞キマスレバ、ア、云フ所ハ「フェリー」デ結構デアル、外國デハ御承知ノ如クアノ位ノ距離ハ

殆ド汽車ニ乗ッテ知ラナイ間ニ通過シテシマフト云フヤウナ譯デ、「フェリー」デ渡レバ、立派ニ「フェリー」デ用ハ濟ムノデアリマスカラ、「フェリー」デヤルノガ一番良イノダ、若シソレガイケナイナラバ、架橋デ人間モ通レルシ、自動車モ通レルト云フヤウナコトデヤラナクチャ嘘デアルト云フヤウナコトヲ言ッテ居ル人ガ澤山アリマス、恐ラク私ノ想像スル所ニ依レバ、内務省ヤ鐵道省ガ此良案ヲ採ラレナカッタト云フノハ、結局軍部ノ反對ニ遭ッテ、サウ云フ風ニナッタト私ハ想像致シマス、若シ果シテ然ラバ、是ハ軍部當局トシテ單ナル技術上ノ問題、單ナル非常ナ稀ナル杞憂ヲ以テ、此ノ非常ナ財政困難ノ際ニ、多額ノ金ヲ費スト云フヤウナ事業ニ付テハ、サウ云フ點カラ軍部トシテモ十分御考ヲ願ヒタイシ、又軍部トシテハ、サウ云フ點ニ付テ之ヲ避ケ得ベキ方法ハ澤山アラウト思ヒマス、要スルニ「フェリー」デアレバ、比較的ニ——吾々ガ想像スルヨリモ金ガ要リサウデスケレドモ、一番金ガ少クテ濟ムデアリマセウ、又架橋ハ工務局長ノ御説明デハ、隧道ヨリモ金ガ掛ルト言ヒマスケレドモ、所謂交通便利ノ上カラ言ヒマスレバ、私ハ架橋ノ方ガ比較的ニ經濟ニ行クモノダト信ジテ居リマ

ス、是ハ議論ニナリマスガ、サウ云フコトヲ考ヘマス、サウ云フ點ニ付テ、要スルニ地方ノ問題ヲ考ヘテ行ク際ニ於テハ、先ヅ架橋及「フェリー」ト云フコトヲ、相當新ナル見地ヲ以テ研究スル必要ガアルト信ジテ、其點ヲ政府ニ於テモ御考ヲ願ヒタイコトヲ此際ニ希望シテ置キタイ、尙ホ鐵道大臣ニ希望ヲ申上ゲテ置キタイノハ、是ハ勿論鐵道ノ爲ニモ非常ナ結構ナコトデアリマスケレドモ、實ハ此間ノ交通ヲ得ル爲ニ、斯ク多額ノ金ヲ費スト云フコトハ、今日ノ鐵道特別會計ノ上ニ於テ非常ニ考ヘ物ダト思フ、大臣ハドウ考ヘルカ知レマセヌガ、吾等鐵道會計ヲ熟ク觀察致シマスルニ、昨今コソ黒字ガ出テ居リマスケレドモ、鐵道ノ建設線ノ延長ガ益、不利益ナル所ニ延長スル、是ハ國民ノ非常ナル熱望ト、地方ノ運動等ニ依ッテ、已ムヲ得ズ收支ヲ度外視シテ、次第ニ建設線ガ延長シツ、アルノミナラズ、今回モ亦私設鐵道ノ買收モアリ、之ニ依ッテ鐵道トシテノ交通ニハ便益ヲ得マスケレドモ、鐵道特別會計カラ申シマスレバ、是等ノ餘リニ利益ノナイ私設鐵道ヲ次第ニ買收スルヤウニナル、是ハ色々ナ事情ノ爲ニ次第ニ鐵道ヲ買收シナクチャナラナクナル、サウシテ利益ノナイ建設線ヲ延ベ

テ行ケバ、鐵道財政ノ將來ト云フモノハ、

非常ニ憂慮スベキコトデアルト云フコトヲ

考ヘルノデアリマス、隨テ只今一時的ノ黑

字ガ出テ居ルト云フヤウナコトニ満足シ、

又其一時ノ事ヲ考ヘテ、大ナル計畫ニ付テ

金ヲ吝マスト云フヤウナコトハ、私ハ鐵道

當局トシテ餘程考慮スベキ問題デアルト思

ヒマス、隨テ此種ノ地方的ノ——必ズシモ

地方的デアリマセヌケレドモ、此種ノ事

業ニ付テハ、固ヨリ地方デ其資金ヲ得ルヤ

ウナ方法ガアレバ、鐵道特別會計ノ支出ヲ

最モ經濟的ニシ、又ソレニ付テ考慮ヲ拂フ

ナラバ、黒字デアルカラ宜シイ、之ヲヤッテ

ヤラウト云フヤウナ大マカナ考デナクテ、

相當鐵道特別會計ノ將來ヲモ考ヘテ行カナ

イト、私ノ見ル所デハ、鐵道特別會計ノ將

來ハ悲觀スベキモノデアルト信ジマスカ

ラ、サウ云フ點ニ付テ計畫ヲ御進メニナル

際ニ、鐵道大臣トシテモ十分ナル考慮ヲサ

レ、而モ私ノ最モ憂フル地方問題、即チ門

司市及下關市ガ非常ナル打撃ヲ受ケルト云

フ點ニ付テ、十分ナル御研究ヲ下サイマシ

テ、此問題ノ解決ニ付テ善處サレンコトヲ

希望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○名川委員長 ソレデハ此程度デ休憩シマ
ス、午後ハ本會議ガアリマスカラ、二時半

カラヤルコトニ致シマス

正午休憩

午後二時四十八分開議

○名川委員長 ソレデハ午前ニ引續イテ開
會致シマス

○永田委員 大隅鐵道買收ノ件ニ付キマシ
テ、當局ノ方ニ御尋ラシタイト思ヒマス、

本會議デ大體要旨ハ御尋シタノデアリマス

ガ、私ノ大隅ノ地方ハ從來全ク國家ノ施設

ニ浴シテ居ナカッタ地方デアリマス、ソレガ

今年漸ク初メテ鐵道ガ建設サレマスノデ、

吾々ノ地方民ハ洵ニ驚喜ノ淚ヲ零シテ喜ン

デ居ルノデアル、此點ハ當局ニ對シテ大變

感謝ノ意ヲ表スル次第デアリマスガ、之ニ

付キマシテマダ買收ノ日子ガ決定シテ居ラ

スト云フコトデアリマス、鐵道大臣ガ御發

表ニナリマシタノデ、私ハ之ニ付テ甚ダ勝

手カモ知レマセヌケレドモ、此機會ニ御願

シテ一ツ質問ヲシテ見タイト思フノデアリ

マス、ソレハ此鐵道ハ今マデ三箇年ノ間、

殆ド收益ト云フモノガナカッタノデアリマ

ス、無配當デ來タノデアリマス、當局モ御

承知カモ知レマセヌガ、今年ノ秋アノ地方

デ大演習ガ行ハレルヤウナコトニナッテ居

ルノデアリマス、サウナリマスト必ズ三箇

年ノ間無配當デアッタアノ大隅鐵道ハ、今年

ノ十一月ノ大演習ガ済ミマシタナラバ、相

當ノ配當金ガアリハセヌカト思フノデアリ

マスガ、サウナリマスト三箇年間繼續シテ

無配當デアルト、此間ノ御説明デハ半額云

云ト云フコトデアリマシタガ、一箇年間配

當ガアレバ、二箇年無配當——一箇年配當

ガアリマスカラ、多少ナリトモ半額ヨリモ

高ク買收セラル、コトニナリマシテ、吾々

ノ地方ノ蒙ル損害ガ少ナクナルト思フノデ

アリマス、先日モ申上ゲマシタ通り此鐵道

ハ今カラ二十二年間、丁度アノ櫻島噴火

ノアリマシタ當時、私共大隅ノ者共ガ、

ドウシテモ交通機關ノ整備ヲ急ガナケレ

バ、大隅半島ノ開發ハ出來ナイト云フ理由

カラ、先日モ申上ゲタ通り芋ヲ賣リ、或ハ

少シ位持ッテ居ル畑マデ賣ッテ、株ヲ一株二

株ト村會議員、地方ノ金持ガ零細ナル金デ

持ッテ、アノ會社ハ出來タノデアリマス、其

後二十數年ノ間、無論株主ノ變遷モアリマ

シテ、只今デハ相當地方ノ大地主デアルト

カ、或ハ金持サンデアルトカ云フ風ニ株主

モ纏ッテ居リマス、尙又一部ハ鹿児島等ノ

商人ノ手ニ入ッテ居ルモノモアリマスケレ

ドモ、何レニシテモ當初ハ地方ノ農民ガ芋

カラ、マダ斯ルモノガ繼續サレテ居ルモノ

モ隨分居ルト信ジテ居リマス、以上ノ理由

カラ成タケ十年度ノ成績ヲ見テ、其益金モ

考慮ノ中ニ入レテ下サッテ、出來マスナラバ

十年、九年、八年ト、三箇年ノ中ニ二箇年

ハ無配當、一箇年間ハ配當ト云フヤウナ風

ノ結果ヲ見タ上デ、買收ノ日ヲ御決定ヲ願

ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ先日モ申

上ゲマシタガ、此大隅鐵道ノ敷地ハ、三十

一哩ノ敷地ヲ全部私共ノ地方ノ町村長トカ

有志ガ協議ノ上デ、田モ、畑モ、宅地モ、

山林モ全部ハ殆ド寄附——敷地ハロハニ

近イヤウナ安イ値ヲ以テ、會社ノ買收ニ應

ジタノデアリマス、ソレハ即チ地方ニ鐵道

ヲ早く通シテ戴キタイト云フ熱望ト、將來

早く國鐵ヲ引込マウト云フ其熱望カラ、地

方ノ人ガサウ云フ敷地ヲ皆犠牲ヲ拂ッテ、寄

附同様な安價デ買收ニ應ジタノデアリマ

ス、當時ノ買收ノ方法ハ、私ハ先日本會議

デ申上ゲマシタコトニ、ウツカリスルト誤解

ガアルトイカスト思ヒマスカラ、此際説明

申上ゲマスガ、アレハ明治十二年ノ地租改

正當時ノ地價金ノ三倍デ應ジタノデアリマ

ス、其當時ノ地價金ト言ヒマスト、大概一

段歩良キ田畑デアッテ先ヅ十二三圓内外、畑

ノ三倍デアリマスカラ、殆ド水田ガ一段歩當リ三十數圓、畑ハ十二三圓ト云フヤウナ安價デ、此鐵道會社ノ買収ニ應ジタノデアリマス、サウ云フヤウナ譯デ、地方トシテハ株モ無理ヲシテ持テ、又用地モ極ク安ク寄附同様ノ犠牲ヲ拂ッテヤッタト云フヤウナ次第デアリマスカラ、願クハ此買収ノ日ヲ御決定ナサルノヲ、今年ノ大演習ノ結果ノ收益ヲ見タ上デ——同ジ年度ノ中デゴザイマスカラ、來年ノ三月マデハ壽命ガアルノデアリマスカラ、適當ニ御按配アランコトヲ希望スル次第デアリマス、ソレガ一ツ、第二ニハ今度新ラシク國鐵ヲ改修サレル際ニハ、大隅鐵道ノ舊線路ニ沿ウテ、國鐵ノ線路ノ御決定ヲ仰ギタイ、尙停車場等モ隨分以前ハ地方ノ人ガ犠牲ヲ拂ッタノデアリマスカラ、成ルタケ現在ノ停車場ヲ保留所ハ、其儘ニシテ生カシテ戴キタイト云フ熱望ヲ、地方ノ人ハ猛烈ニ有ッテ居ルノデアリマスカラ、此事モ御含ミヲ願ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ先日鐵道大臣ノ御親切ナ御答辯ノ中ニ、山陵等ノコトモアリマシタガ、丁度線路ガ一番南ノ方ニ迂廻シテ居ル所ニ始良ト云フ所ガアル、此始良停車場ハ御陵ニ僅カ一里半ノ近イ所ニ在ル、ソレガ熊本ノ建

設局ノ御測量デハ彼處ハ少シ無理ダカラ、マダ北ノ方ニ「カーヴ」ヲ少シ緩慢ニシナケレバナラスト云フヤウナ御話デアリマス、左様ニナリマスト非常ニ御陵參拜等ニ不便ヲ感ジハシナイカト思ヒマス、殊ニ鐵道當局モ御承知ノ如ク、今年ノ大演習ニハ大元帥陛下ガ御出デニナリマスカラ、恐ラクアノ山陵ニモ親シク御參拜遊バサレルヤウナコトモアルデアリマセウ、ソレヤ是ヤヲ考ヘ、尙ホ地方ノ利便等カラ考ヘマシテモ、亦近頃ノ色々思想問題カラ考ヘマシテモ、態々御陵デアルトカ、神社等ニハ參宮鐵道ト云フヤウナ鐵道ヲ御建設爲サツタ例モアルノデアリマスカラ、此線路等モ多少無理ガアッデモ從來ノ大隅鐵道ノ線路ニ沿ウテ、一ツ線路ノ御決定ヲ願ヒタイ、尙停車場等モ同ジコトヲ繰返サヤウデアリマスガ、從來ノ地方民ガ熱望シタノハ廢サヌヤウニシテ、其儘御決定ヲ願ヒタイノデアリマス、其次ニハ大隅鐵道ニ現在從事シテ居ル驛夫デアルトカ、社員デアルトカ、或ハ線路工夫デアルトカ、斯ウ云フ者ハ殆ド二十數年ノ間、隨分變遷モアリマシタガ、當初カラ現在迄引續イテ熱心ニヤッテ居ルノモ居ルノデアリマス、是等ハ、此會社ガ悲況ニ陥ッタ當時ニ、殆ド月給モ貰ヘヌト云フコトデ、尙又

何年經ッテモ月給ガ上ラヌト云フヤウナ苦シイ目ニ遭ヒナガラ、安イ芋ナドヲ食ッテ漸ク仕事ヲシテ、眞面目ニ働イテ居ッタノデアリマス、或時ナド私ガ現ニ聞イタノデアリマスガ、先生モウ迎モ此仕事ニ當ッテ居ッテハ食ヘヌ、家族ナド澤山居ルノデアリマスカラ、モウ辭メマセウカト言フ、ソシナコトデハイケンナイ、是ハ地方交通上大キナ責任ノアル問題デアルカラ、石ニ嘴付イテモ從業シテ貰ヒタイ、又詰ラヌ「ストライキ」ナドヲ起ストイカヌゾト云フヤウナコトヲ教ヘテ來タコトモアルノデアリマス、此從業員等モ今度國鐵ヲ建設ナサイマシタナラバ、今マデ二十數年辛抱シテ參ッタノデアリマスカラ、是等ノ驛夫トカ線路工夫等モ、國鐵ガ出來マシタ場合ニハ御優遇シデ戴クヤウニ、重ネテ御願シタイノデアリマス、是等ニ付キマシテハ、先般鐵道大臣カラ御丁寧ナ御答辯ガゴザイマシタガ、直チニ私ノ地方ノ大隈半島ノ十五萬縣民ニ是ガ響イテ、感謝ノ電報等ガ參ッテ居リマス、洵ニ有難ク御禮ヲ申上ゲマス、併シ大臣ノ仰シヤルコト、地方ノ建設局長ガヤルコト、ガ齟齬致シマシテ、喜ビガ悲ミニナルヤウナコトガナイトモ限リマセヌカラ、何卒本會ノ議場デ仰シヤッタ通り、買収金ノ決

定ノコト、線路ヲ大隅鐵道ニ沿ウテヤルト云フコト、尙ホ從業員ノ優遇等ニ付キマシテモ、鐵道大臣ノ言明通り、目出度ク實現スルコトヲ熱望シテ已マヌ次第デアリマス、此希望ヲ申上ゲ、旁々以上ノ事ヲ重ネテ質問致シマシタ次第デアリマス、尙ホ此機會ニ先日清瀬サンカラノ質問ノ時ニ、鐵道大臣ガ省營「バス」ノコトヲ詳シク御説明ガアリマシタカラ、此機會ニ是ハ甚ダ勝手ナ御願カモ知レマセヌガ、御尋シテ置キタイト思ヒマス、是ハ矢張大隅鐵道ニ關聯シタ問題デアリマスカラ、其關聯シタコトカラ御尋シタイト思ヒマス、是ハ地方的ノ事カモ知レマセヌケレドモ、現在大隅鐵道ハ御承知ノ通り、志布志カラ古江マデノ建設年度ガ豫算ニ見エテ居ルノデアリマスガ、古江ト一方國鐵ノ國分間ニハ、今回省營「バス」ヲ御建設遊バサレルヤウニ御決定ヲ見タノデアリマス、是ハ地方ノ爲ニ有難ク感謝ニ堪エヌ次第デアリマスガ、但シ大隅鐵道ハ現在ノ志布志古江間ノミデハ、マダ大隅半島ノ交通上ニ、完全ナル施設デアルト云フコトハ出來ヌノデアリマス、是ハ矢張垂水カラ國分マデ、ズット鐵道ヲ建設シテ戴クカ、垂水マデ延シテ戴イテ、ソレカラ先ヲ垂水鹿兒島間ニ、鐵道省ノ方デ御遣リニナル

所ノ連絡船デ御運ビニナルノカ、若クハ今度御承知ノ通り、櫻島噴火ハ一方デハ非常ナ損害ヲ、吾々縣民ニ與ヘマシタケレドモ、一方カラ言ヒマスルト、アノ大隅ノ海峽ガ埋テシマッタ、丁度熔岩ノ上ニ今縣費デ縣道モ出來テ居リマス、今年ノ大演習ニ間ニ合フヤウニト云フ譯デ、先日鹿兒島ノ土木課長モ東京デ會ッテ明ニ聲明シタノデアリマスガ、大隅カラ大隅海峽ノ熔岩ノ上ヲ通シテ、丁度鹿兒島ノ邊リマデ道路ガ立派ニ出來ルノデアル、サウナレバ自動車ハ海岸カラ櫻島マデ僅ニ十五分デ行ケル、其間ヲ連絡船ニ依ッテ自動車モ人モ、郵便物モ皆運ブヤウニシタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、斯ウ云フコトニナリマスと云フト、非常ニ大隅半島ノ交通上ニ便利ヲ受ケル譯デアリマスガ、之ニ付キマシテ先日鐵道大臣ハ、省營「バス」ノコトヲ御話ニナリマシタカラシテ、此機會ニ若シ鹿兒島ノ驛カラ鹿兒島港迄連絡サレ、鹿兒島港カラ對岸ノ櫻島ニ至ル省營ノ連絡船ヲ以テ連絡ヲ圖ッテ戴ク、ソレカラ先ハ櫻島カラ垂水マデ省營「バス」デヤッテ戴ク、或ハ垂水カラ古江邊リデモ宜シウゴザイマスガ、何レニ致シマシテモ、此鐵道ト、省營「バス」ト、連絡船ニ依ッテ鹿兒島ト大隅半島ノ間ヲ、旨ク連絡

ヲスルヤウニシテ戴キタイ、省營「バス」網ニ付テモ此際御調査ガアリマシタナラバ、ソレヲ一ツ御研究ノ項目ノ中ニ入レテ戴キタイト云フ希望ヲ、此際御願シテ置キタイト思フノデアリマス、尙ホ此大隅半島ノ交通問題トシマシテハ、現在古江マデ鐵道ヲ建設シテ戴クヤウニナッテ居ルシ、一方ハ古江國分間ニ省營「バス」ヲヤッテ戴キ、尙ホ只今申上ゲマシタ鹿兒島大隅間ニ、省營「バス」若クハ鐵道線路ニ依ッテ連絡ヲスルト云フ風ニナリマス、隨分便利ニナルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ大隅半島ノ南端ノ方ノ問題デアリマス、此南端ノ方ハ現在大隅半島ノ川北迄、鐵道網ノ豫定線ニ入ッテ居ルノデアリマスケレドモ、此川北迄ハ不完全デアリマスノデ、川北カラ佐多ノ燈臺ガアル彼處ノ近クニ大泊ト云フ所ガアリマスガ、此大泊迄ハマダ縣道ガ一里位未開通ノ所ガアリマスノデ、此大泊迄ノ道路ヲ改修シマス、省營「バス」ガソコ迄將來ハ運轉ガ出來ルヤウナコトニナルノデアリマス、左様ニナリマスと云フト、大隅半島ヲ縱貫シタ一ツノ省營「バス」網ガ出來マスノデ、サウスルト其對岸ノ、御承知カモ知レマセヌガ、鐵砲傳來デ有名ナ種子島ト此大泊間ガ、僅ニ二時間デ連絡ガ出來ルノデア

リマス、サウナリマスと即チ種子島、屋久島等ノ鹿兒島縣ノ近海ニ在ル所謂寶庫ガ、現在デハ鹿兒島トノ間ニ隔日位ニ汽船便ガアッテ連絡ガ出來テ居リマスガ、ソレガ一日一回ハ郵便物ヤ、旅客ノ連絡ガ出來ルヤウニナリマスノデ、大隅半島ノミナラズ、對岸ノ種子島ヤ屋久島ノ文化産業ノ進展ノ上ニモ、非常ナ利便ヲ受クルモノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテモ古江迄延ビテ居ル省營「バス」ヲ、古江、高須、川北、大泊迄延シテ戴イテ、サウシテソレヲ對岸ノ種子島、屋久島迄連絡ノ取レルヤウニ一ツ御考慮ヲ願ッテ、之ヲ省營「バス」ノ計畫ノ中ニ入レテ、御調査ヲシテ戴キタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キマスガ、是等ニ付キマシテモ何トカ答辯ヲ戴ケレバ結構デアリマス

尙ホ私ハ此機會ニ御尋シタイコトハ、日本ノ中ニハ隨分長崎縣ノ五島デアルトカ、或ハ熊本縣ノ天草デアルトカ、又私ノ今申上ゲマス鹿兒島縣ノ種子島トカ、又鹿兒島縣ノ三區ノ中ノ大島トカ云フ所ハ、何レモ國防上カラ見テモ必要ナ所デアリマス、沖繩ニハ一寸シタ鐵道モアリマスケレドモ、此鹿兒島縣ノ屋久島、大島ソレカラ熊本縣ノ天草、長崎縣ノ五島、斯ウ云フ九州方面ノ島々ニハ無論鐵道ハナイノデアリマスカラ、是等大キナ島ニハ省營「バス」ヲ敷イテ戴キタイ、是ハ少シ無理ナ御願カモ知レマセヌケレドモ、是等ハ鐵道大臣モ他ノ方々モ、實際アノ島ニ御出デニナレバ御分リニナルデアラウト思ヒマスガ、ア、云フ離島ト云フモノハ、國家ノ爲ニ色々ノ租稅ハチヤント納メテ居リマスケレドモ、割合ニ國家ノ施設ノ遅レテ居ルコトハ明ナ事實デアリマス、種子島ノ如キハ唯稅金ヲ納メルバカリデ、鐵道ハ一哩モナイシ、又港灣ノ設備等モ餘リヤッテ戴ケナイト云フヤウナ譯デ、若シ皆樣ガ大島等ノ離島ヘ御出デニナッタナラバ、斯ウ云フ所ガ日本ノ中ニアルノカト吃驚サレルコトガアリマセウ、私ハ曾ツテ屋久島ニ參リマシタガ、彼處デハ國稅ト縣稅ノコトヲ罰金ト言ッテ居リマス、ア、又罰金ガ來タナト言ッテ居ル、罰金ト云フノハ出シテモ少シモ利益ニナラヌ、吾々ハ國稅ヤ縣稅ヲチヤント納メルケレドモ、一向國家ヤ縣ハ吾々ノ有利ナ施設ヲシテハ呉レヌカラ、是ハ罰金デアアル、又罰金ガ來タト言ッテ笑ッテ居ル、サウ云フ場所デアリマスカラ、種子島トカ大島、天草ソレカラ五島ト云フヤウナ人口モ二十何萬、若クハ五萬、八萬ト云フヤウナ澤山ノ人ガ住ッテ居ル所ニハ、離島デアッ

テモ省營「バス」ラ一ツ國家ノ方カラヤッ
テ載クヤウニナリマスレバ、非常ニ喜ビ
ハセスカト思ヒマス、是ハ一部今ヤッテ居
ル民間營業者ナドガ反對シテ、選舉ナドニ
ハ多少損ヲスルヤウナ問題デ、ウツカリ言ハ
ヌ方ガ宜イノデスケレドモ、國家ノ爲トナ
ラバ、サウ云フ哀ナ者ニハ、身ヲ犠牲ニシ
テモ善政ヲヤル必要ガアルト思フノデアリ
マシテ、此意味カラ今ノ事ヲ御尋スル譯デ
アリマスガ、將來斯ウ云フ離島等ニ於キマ
シテモ、省營「バス」ヲ考慮シテ見タイト云
フ御意思ガアリヤ否ヤ、此點ニ付キマシテ
一應御尋シテ見タイト思フノデアリマス、
甚ダ辻褄ノ合ハヌコトヲ、希望ト質問ヲ致
シタ譯デアリマスガ、ゴツチヤ混ゼニナリマ
シテ御叱ヲ受ケルカモ知レマセヌガ、此際
一應ノ御答辯ヲ得マシテカラ、又重ネテ御
尋ヲ致シタイト思フノデアリマス

○前田政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシ
テ、先ヅ私カラ御答辯ヲ申上ゲマシテ、私
カラ申上ゲマセヌ所ハ、他ノ政府委員カラ
御答辯ヲ致シタイト思ヒマス、先ヅ買收價
格ノ御尋デアリマスガ、是ハ先般本會議ニ
於キマシテ大臣カラモ御答辯ガアリマシ
タガ、此大隅鐵道ハ過去三年間營業關係ニ
於キマシテモ赤ニナッテ居ル、只今永田サン

ノ仰シヤッタ通りデアリマス、ソレデ法律ノ
規定ニ基キマシテ、買收ノ日ニ於ケル建設
費ヲ、國債ノ其時ノ相場ニ依ッテ換算致シ
マシタ金額以內ニ於テ、會社ト協定スル、斯
ウ云フコトニナッテ居ル譯デアリマス、其會
社トノ協定ノ方法ト致シマシテ、從來カラ
鐵道省ト致シマシテハ、是モ矢張先般大臣
カラ御答辯ガアリマシタ通り、買收ノ日ノ
建設費ヲ國債ノ相場ニ依ッテ換算致シマシ
タ金額ト、ソレカラ益金ヲ元本ニ還元致シ
マシタ金額、此大隅鐵道ノ場合ニ於テハ赤
デゴザイマスカラ、結局是ハ零ト云フコト
ニナル譯デアリマス、ソレデ建設費ノ國債
換算額ノ約半額ト、斯ウ云フコトニナル譯
デアリマス、是モ既ニ會社ト協定モ濟ンデ
居ル譯ナンデアリマスガ、只今永田サンノ
御質問ハ、本年ノ秋ノ大演習ノ經過ヲ其中
ニ取入レルコトハ出來ナイカ、斯ウ云フ御
尋ノヤウデアリマスガ、建設線ノ串良、鹿
屋間ノ工事ハ、十年六月ニ著手スル豫定ニ
ナッテ居リマス、ソレデ若シ豫定ノ如ク建設
工事ヲ始メルト致シマス、ソレマデニ買
收ヲ終了スル必要ガアリマスノデ、ドウ
カト考ヘマスルノト、ソレカラモウ一ツハ
大隅鐵道ノ營業ノ期間ガ——決算期ガ五月
ト十一月ト云フコトニナッテ居リマス、大演

習ノ行ハレマス時期ハ、正確ニハ存ジマセ
ヌケレドモ、恐クハ其モウ一ツ次ノ營業期
ニナリハシナイカ、斯ウ云フヤウニモ想像
サレル譯デアリマス、甚ダ遺憾ナガラ一寸
是ハムツカシクナイカト云フヤウナ氣持ガ
致ス譯デアリマス、ソレトモウ一ツ從來ノ
損失ヲ見マスルト、是ハ參考書ニ書イテア
リマスガ、過去三年間二萬一千圓バカリノ
損失ニナッテ居リマス、ソレカラ七年ノ上期
一期分ハ引キマシテモ、二萬圓足ラズノ損
失ニナル譯デアリマスカラ、モウ一期假ニ
先ニナリマシテ、其期ニ二萬圓ノ大體純益
ヲ上ゲマシタ場合ニ、三年間平均シマス
ト——ニナリマス、斯ウ云フコトニナル
譯デアリマスカラ、ソレ以上ノ純益ガアリ
マセヌト、其工事ガ買收價格ニ響イテ來ナ
イ、斯ウ云フ形ニナルヤウデアリマス、ソレ
等ノ關係ヲ考慮致シマシテ、折角ノ何デア
リマスケレドモ如何カト考ヘテ居リマス、
併シ先刻モ申上ゲタヤウニ、買收期日ガ大
體ハサウ云フコトヲ標準ニシテ居リマスル
ケレドモ、未定デアリマス、是カラ總テノ
建設費ノ帳簿ナンカモ取調ヲ始メル譯デ、
又過去ノ營業費收入等モ、只今此處ニ參考
書ニ書イテアリマス分ハ、會社ノ營業報告
ガ其儘書イテアル譯デアリマスガ、本當ノ

會社ノ帳簿、實際ノ原簿ニ就テ逐一是ハ取
調ベナケレバナラヌ譯デアリマス、鐵道省
ガ其上デドウ云フ風ニ動クカト云フコトハ、
今日申上ゲル譯ニ行キマセヌガ、成ベク御
質問ノ中ニアリマシタ用地費ト云フモノ
モ、私共ノ方ノ報告書等ニ依リマシテ、一
通り調ベテ見マシタノデアリマスガ、是ハ
大體從來トモ色々金額ニ於テ、或ハ安く賣
タト云フヤウナ關係等モ各所ニアッタヤウ
デアリマス、是等ハ何レモ實費計算ト云フ
コトガ建設費ノ主義ニナッテ居リマス、個々
ノ買收價額ハ分ッテ居リマセヌケレドモ、全
體ヲ通覽シテ考ヘマスルト、一般地方鐵道
ノ用地費ニ較ベマシテ、若干ハ割安カトモ
考ヘマスケレドモ、全體トシテハサウ不權
衡ナ御値段デアリマシテ居ナイヤウナ氣モ致
シマス、ソレ等ノ點ハ能ク取調ベマシテ、買
收價額ヲ決定致シタイト存ジテ居リマス、
此點デ御許シ願ヒタイト思ヒマス
ソレカラ從業員ノコトハ是ハ先般本會議
デ大臣カラ申上ゲタ通りデアリマスガ、現
業員ハ總テ之ヲ引繼グト云フコトニナッテ
居リマス、隨テ本社ニ勤務致シテ居リマス
者ガ、多少引繼ノ中ニ漏レルコトニナルノ
デアリマス、是ハ從來ノ鐵道省ノ建前ガ、
サウ云フコトニナッテ居リマス、又本社勤務

ノ者ハ、鐵道ヲ鐵道省ガ買收スルトシテモ、必シモソレヲ引繼グトハ決メテ居ルモノデナイ、例ヘバ現業ト云フヤウナモノニ對シマシテ、鐵道省ガ買收シナイコトガ普通ダト云フヤウナ關係ト似タヤウナ關係ノモノデアリマシテ、必シモ全然同ジコトデアリマセヌガ、稍、似タヤウナ感ジデゴザイマシテ、從來トモ本社員ハ引繼ガナイ、斯ウ云フヤウナコトニナッテ居ル譯デアリマス、今回モ大隅鐵道會社ト同ジ趣旨ニ協定ヲ致シテ居リマス譯デアリマス、又永田サンノ主トシテ仰シヤイマシタ點モ、現業員ニオアリノコト、想像致シマスノデ、其點ハ十分ニ御安心ヲ願ッテ結構ト思ヒマス、其他ノコトハ他ノ政府委員カラ御答サセマス

○河原政府委員 只今永田サンノ御話ノ大隅鐵道ヲ買收シテ、工事ヲ致ス方面ノコトヲ私カラ御答辯申上ゲマス、工事ノ時期ニ付テ色々御話ガアリマシタガ、是ハ私ノ方トシテハ買收ノ事務ガ完了致シマスレバ、直チニ著手致シマセスト、十三年度ノ全通期ヲ押ヘラレテ居リマスカラ、只今ノ所ハ買收期ガ済ミ次第ニ著手シタイと思ッテ居リマス、ソレカラ停車場ノ位置ノコトニ付キマシテハ、本會議デ大臣カラ申上ゲタ通り、技術上許ス限りハ現在ノ位置ニ在ル人

ノ利益ヲ能ク尊重シテ、適當ニ考慮シテ決定シタイト存ジマス

○新井政府委員 「バス」ノコトニ付テ私カラ御答致シマス、先程鹿兒島、垂水間ノ御話デアリマシタガ、是ハマダ私ノ方ト致シマシテハ一ツモ研究シテ居リマセヌノデ、御話ニ依リマシテ考慮致シタイト存ジテ居リマス、古江カラ大泊ノ方ニ付キマシテハ、地元カラノ請願ガアリマスノデ研究シテ見タイト考ヘテ居ル所デアリマスガ、マダ何モ研究シテ居リマセヌ、ソレカラ種子島、大島デゴザイマスガ、是ハ過般本格的ノ調査ヲ致シマス時ニ、鐵道ニ關聯アル土地ニ自動車ヲヤルト云フコトニナッテ居リマスノデ、私ノ方ノ本業タル鐵道ニ關聯シナイ所ニハ、今ノ所法律上出來ナイコトニナッテ居リマスノデ、若シヤルト致シマスレバ其法律ノ改正ヲ要スルコトニナリマシタガ、何レサウ云フ風ナ方面モ研究シテ見タイト存ジテ居リマス

○永田委員 只今御丁寧ナ御答辯ヲ得マシテ、大變有難ク御禮ヲ申上ゲマス、私ノ考ヘテ居ル事ガ間違ダアッタコトヲ、當局ノ方カラ御説明ガアリマシテ、私ハ買收金ノコトニ付キマシテハモウ何トモ申上ゲマセヌ、却テ買收ガ遅レマシテ、工事が遅レマシ

テハ大變ダト思ヒマスカラ、買收金ハ當局ノ方ノ御交渉通りデ宜イト思ヒマス、尙ホ從業員ノコトモ御丁寧ナ御答辯ガアリマシテ安心致シマシタ、又此線路ノコトニ付テモ、矢張大臣ノ御答辯ト建設局長ノ御答辯ガ一致シマシタカラ、ドウゾ重點ハ、此大隅鐵道ノ線路ヲ襲ウテ國鐵ガ通ッテ戴ケバ、ソレデ非常ニ満足デアリマスカラ、此事ヲ返ストモ希望トシテ御願シテ置キタイト思フノデアリマス、次ニ省營「バス」ノコトデアリマスガ、離レ島ノ方ハ法律ヲ改正セシケレバ都合ガ惡イト仰シヤイマシタガ、是ハ何レ自動車網等ノ御調査ガ済ンデ一昨日デシタカ鐵道大臣ガ、關西方面等ハ鐵道ヨリモ、寧ロ省營「バス」ノ方ガ宜イト云フヤウナ所モ澤山アルヤウニ仰シヤイマシタガ、吾々地方民トシテモサウ云フ氣ガスルノデアリマス、寧ロ鐵道ヲ敷イテ戴クヨリ、省營「バス」デ結構ノ所ガアルト思ヒマスカラ、サウ云フ際ニハ大島ノ如キ、五島トカ天涯、種子島ト云フヤウナ、十五萬モ二十五萬モ人口ガアル所ニハ、國鐵ニ連接シナイデモ、可哀相ナコトダカラ省營「バス」ノ網ニ入レテヤラウト云フヤウナ、若シ御研究ノ結果ガ出來マシタ場合ハ、或ハ法律ノ改正等ヲヤッテ戴クヤウナ御意思ガア

ルヤ否ヤ、今伺フノハ少シ亂暴カモ知レマセヌケレドモ、サウ云フコトニ付テ研究デモシタイト云フヤウナ御意思ガ鐵道大臣ニアルカ、此際勝手ナ御願デスケレドモ御伺シテ置キタイト思フノデアリマス

○内田國務大臣 自動車ノ將來ニ付キマシテハ、一昨日モ申上ゲマシタ通り、今後ハ大ニ發達スベキモノデアリ、又其土地ニ依ッテハ自動車ノ方ガ鐵道ヨリモ、却テ便利ダト云フ所モアリマスノデ、全國的ニドウ云フ風ニ自動車ヲヤルベキモノカ、マア限リモナイコトデゴザイマスガ、大體主要「バス」線路ヲ、ドノ位日本ノ今日ノ場合ニ於テ必要トスルカト云フコトヲ、只今調査ヲ致サセテ居リマス、ツイ此間命ジタバカリデゴザイマスガ、ソレガ出來テ來テ此位必要ダトナリマシタラ、ドウセアノ只今ノ鐵道省ノ極メテ微々タル省營「バス」ノ規則ダケデハ、私ハ時代ニ適應セヌト考ヘテ居リマス、自動車ノ今日ノ豫算、毎年三百五十萬圓位ノ微々タルモノデシタラ、此法律デ以テ結構デスケレドモ、之ヲ今後大ニ發展セシメヨウト云フコトガ、現實的ノ時ニナッテ來マシタラバ、法律モ隨テ適當ニ改正シナケレバナラヌ時機ガ、自然到來スルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○永田委員 大變満足シタ答辯ヲ得マシタカラ、是デ私ノ質問ヲ打切りマス

○名川委員長 清水徳太郎君

○清水委員 私ハ具體的ノ問題ニナッテ居ル線ニ付テ御質問申上ゲル前ニ、鐵道其他交通機關ニ關シテノ國策トシテ統制ヲ執ル必要ガアルノデハナイカ、今日交通ノ問題

ニ關シマシテハ、鐵道自動車ノ方ハ内地ニ就テハ、鐵道大臣ガ管轄シテ居ラレル、サウシテ船舶航空ニ付テハ逕信省ノ管轄ニア

ル、ソレカラ道路ノ方ハ港灣ノ方ト共ニ内務省ノ所管ニアル、何レモ利益ガ錯綜シ、相衝突スルコトガ非常ニ多イノデアリマシ

テ、無駄ノ設備モアリマスルシ、不統制ガアリマスルシ、國策ノ上カラ見テドウカト

思フノデアリマス、幸ヒ内閣審議會ト云フモノガ近く出來ルト云フコトデアリマス

ガ、交通事業ニ關シテ統制的ノ方法ヲ講ジナケレバナラスト云フノデ、其交通事業ニ

關スル國策ニ付テ、内閣審議會ニ大臣ハ御掛ケニナル御考ヲ持ッテ居ルカドウカ、詰リ

或ハ茲ニ交通省ト云フヤウナモノヲ設ケテ、交通ニ關スル一切ヲ統制シテ行ッた方

行クコトガ、國家ノ政策ノ上ニ重大ナル結果ヲ有ッテ居ルノデハナイカト思ハレマスニ依ッテ、先ツ質疑ニ入ル前ニ、鐵道大臣ノ其統制ニ關スル御高見ヲ承ッテ、内閣審議會ニ御掛ケニナル意思ガアルカドウカト云フコトモ、併セテ御尋スルノデアリマス

○内田國務大臣 只今清水サンヨリ甚ダ重大ナル意味ニ於ケル御尋ヲ拜聽致シマシタ、仰セノ通り交通ハ陸上、海上、空中ニ跨ッテ居リマスガ、鐵道省ハ官制ニアリマス通り、陸上運送ヲ主眼トスルト書イテアリマスカラ、只今ノ所鐵道、殊ニ國有鐵道ヲ中心ト致シマシテ、軌道竝ニ自動車ヲ兩翼ニ置イテ、陸上交通ノ完備ト統制トニ、極メテ微力ナガラ働イテ居ル、積リデアリマシタガ、而モ此陸上ニ於ケル是等ノ統制、即チ國有鐵道ト軌道、ソレカラ自動車、是ダケデモ統制ガ頗ル困難デゴザイマシテ、一昨日清瀨サンヨリ許可ヲスル時ニ、注意シテ許可シタ宜カラウト云フ御尋ニ付テハ、私モ洵ニ過去ヲ顧ミテ、曾テ前任者ガ濫許可ヲシタト云フ責メル意味デハナイガ、是ハ時代ノ罪デアリマシテ、殊ニ關西地方ニ於テ統制ガ案レテ居ルト申ストヲカシイノデアリマスガ、統制サレテ居ラナイノデアリマス、此統制ヲ今色々大藏男爵其他ノ

人々ニ依ッテ工夫シテ居リマスガ、又東京地方ニ於テモ其通りナンデスガ、斯ノ如ク陸上ニ於ケル統制サヘモ容易ニ纏マルコトガ出來マセヌノニ、而モ海上ト空中ト聯絡シナケレバ、此交通ガ完備致サナイ時代ニ進歩シテ參ッタノデ、ソコニ只今清水君仰セノヤウニ逕信省、又道路ノ關係ニ於テ内務省、是ハ清水君ノ方ガ専門家デ御詳シイノデ、私ガ言フノハ釋迦ニ說法デスガ、汽車運賃ヨリ小運送貨ノ方ガ高イデス、下手スルト持込貨ガ品物ヨリ高クナッテシマフト云フノガ現在デアリマスカラ、之ニ對シテ即チ道路ノ關係ガアル、是等ヲ統制スルト云フコトハ洵ニ難問題デアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、私ハ只今御話ノ通り内閣審議會ガ出來タナラバ、斯ウ云フモノコソ審議會デ以テ、統制ノ根本原則ヲ基本ニスルモノト申スカ、審議スルト申スカ、相談スルコトガ私ハ最も適當ナ問題ノ一ツカト考ヘテ居リマス

○清水委員 洵ニ結構ナ御答辯デ満足スルノデアリマスガ、私一ツノ例ヲ想ヒ起シマシテ、今恰度大臣ガ御氣付ニナリマシテ御示シニナリマシタガ、道路ノ小運送ガ非常ニ高イノデ驚クノデアリマス、今日米材ガドン／＼日本ヘ入ッテ來テ内地ノ山林業者ヲ壓迫シテ、サウシテ林業ノ經營ガ非常ニ困難ヲ來シテ居ル、其一ツノ原因ハ日本ノ材木ノ山カラノ小運送貨ガ高イ結果デハナイカト云フコトヲ想ヒ起シマス、曾テ吉野山ニ今ノ 皇后陛下ガ皇太子妃ニ御成リナサラウト云フ御前ニ方ッテ、御兩親ト御旅行ニナツコトガアリマシタ、其際ニ吉野山ニ新シイ旅館ノ設備ヲシタノデアリマス、其吉野山ニハ吉野杉ガアッテ樽ニモ用ヒ、其他ノモノニモ用ヒルガ、主ナルモノハ樽材デアリマスケレドモ、矢張其時周圍ノ杉ヲ利用シテ建テルモノト思ッテ居タッ所ガ、米材デ建テタノデアリマス、勿論オ出デニナル際ニ綺麗デサヘアレバ、宜イノデスカラ、米材デモ差支ナイノデアリマスガ、米材デ建テタ、其時私ハ尋ネタノデアリマス、何故周圍ノ山ノ木ヲ伐ッテ來テヤラナイデ、亞米利加ノ方カラ持ッテ來タ材木デヤルカ、斯ウ聞イテ見マシタ所ガ、亞米利加カラ五條ノ停車場マデ持ッテ來ル運賃ト、五條ノ停車場カラ吉野山ニ運ブ運賃トガ同ジダ、サウ云フコトガ分ッタノデアリマス、然ルニ米材ノ方ガソレダケ掛ッテモ尙且ツ得デス、詰リ吉野山カラ五條ノ停車場マデ何十里トナイ其運賃ト、五條カラ亞米利加マデノ運賃、而モ亞米利加ト云ッテモ加奈陀ニ近イ方ノ亞

米利加、其遠イ所カラ持ッテ來ル運賃ト同ジ位ナ高イ運賃ヲ掛ケテモ、尙且ツ米材ガ利益ダ、斯ウ言フンダカラ、ソレハ餘程色ノ場合ニ於テ内地材ガ高クナル原因ハアルドラウト思フ、今日林道ノ獎勵ナドヲ地方デ非常ニヤッテ居リマス、匡救事業トシテ林道ノ開鑿モ頻リニヤッテ居リマスガ、マダ及バナイノデアル、私等ハ斯ウシタ事ヲ考ヘタ時ニ、地方ニ居ッテ實ハドウモ交通政策ガ行届カヌ、先程モ清瀨君ナドカラ色々御尋ガアリマシタガ、鐵道省ハ自動車ヲ許可シテ置イテ買収ナサル、私設鐵道ヲ許可シテ置キナガラ私設鐵道ト竝行シタ線路ヲ御敷キニナッテ、後トデ補償ヲスル、隨分矛盾極マル事ガ澤山アル、斯ウ云フコトハ恆久的ノ交通政策ガナイ爲メデアル、先程モ大臣ガ仰セニナッタ通り、此頃勃興シテ來タ航空事業ニ付テ考ヘテ見レバ、無理ニソナ金ヲ掛ケナイデモ航空運ベル所ナラバ、船舶ナリ他ノモノニ金ヲ掛ケナイデモ、航空事業デヤッテ宜イ所モアリマセウ、サウ云フ風ニ色々統制シテ考ヘナケレバ國策ハ十分ニイカヌト思フノデアリマス、併シサウ云フコトヲ聽テ國策ノ内閣審議會ニ御掛ケニナルト云フ御考ハ洵ニ宜イコト、考ヘマス、次デ私ハ鐵道省ノ所管ノ統制ニ

關シテ、鐵道大臣ニ御尋ネシマス、即チドウ云フ御考デ統制シテ行カレルカ、換言スレバ國有鐵道ト私設鐵道ト、ソレニ自動車ト云フモノ、是ダケニ付テドウ云フヤリ方ニ依ッテ統制ヲ保ッテ、無駄ノ無イヤウニ、能率ノ上ルヤウニ、經濟ニ行クヤウニ、國家ノ利益ニナルヤウニ、公衆ノ便利ニナルヤウニト云フ御考デ方針ヲ立テ、行カントスルノカラ御尋ネシマス、即チ鐵道省ダケノ御考ヲ先ニ御定メニナッテ、ソレカラ他トノ方策ヲ御研究ニナルノハ順序デアアルカラ、鐵道大臣トシテ自分ノ所管ノ事ダケニ付テ、大體ノ御方針ヲ承レバ結構デアリマスコト内田國務大臣 清水サンヨリ鐵道省所管ダケノ陸上交通ニ對シテノ統制ノ方針如何、斯ウ云フ御尋ネデゴザイマスガ、是ハ紋切型ノ御返事ヲ致シマスレバ、統制ヲ案サヌヤウニ特ニ留意スルカ何ト云フ所デセウガ、現實ニ之ヲドウ統制スルカト云フコトニナルト、中々容易ナ問題デハゴザイマセヌ、何シロ大キナ固定資本ヲ入レテ「レール」ヲ敷イテ居ル所デアリマスカラ、是カラ先キ將來ノ私設鐵道ノ許可、自動車路線ノ許可ト云フヤウナコトデアリマスレバ、ソレハ統制ヲ圖ッテ許可シテ行ケマスケレドモ、既ニ許可サレテ大キナ資本ヲ入

レテ、サウシテ開業シテ居ルモノニ對シテ、之ニ廢業ヲ命ズル譯ニモ行カズ、統制ガ中々困難ナ事ハ私ガ申上ゲルマデモナク、鐵道ノ實際事務ニ御經驗ノアル清水サンハ、能ク御了知ノコト、存ズルノデアリマス、ソレデ今私ガ惱ンデ居ルノハ、大阪、京都ヲ中心トスル、即チ京阪地方及東京ヲ中心トスル方面ノ交通統制、是ガ一番困難デゴザイマシテ、東北デアルトカ、九州デアルトカ、中國デアルトカ云フ遠距離ノ所デアリマス、交通ノ統制ヲ案スト云フ程線路ガ行渡ッテ居リマセヌカラ、大シタ問題ニハナリマセヌガ、現實ヲ言フト東京中心ト大阪中心ノ交通統制ニハ、私ハ全ク惱ンデ居ルノデアリマス

○清水委員 大臣ノ御答ヘ易イヤウニ具體的ニ進ンデ行キマスカラ、ドウゾ御答ヲ願ヒマス、ソレデハ許可ノ事ダケニ付テ先ヅ御尋ヲ致シマス、許可ノ御方針トシテ私設鐵道ニ對スル將來ノ許可——條文ニ違ハナイ程度ニ於キマシテ、大體ドウ云フ場合ニ將來私設鐵道ヲ御許シニナラウト云フ御考デアアルカ、ソレヲ先ヅ承リタイノデアリマス

請ガ洵ニ稀ナンデゴザイマスガ、許可ノ方針ト致シマスレバ、固ヨリ地方ノ開發、産業ノ發展、而シテ將來其鐵道ガ成立ッテ行クヤ否ヤト云フコトニ見透シヲ附ケマシテ、而シテ國有鐵道ノ建設等ト見合ヲ附ケテ許可シテ行ク方針デゴザイマスガ、尙ホ詳細ナコトニ付キマシテハ監督局長ヨリ御答スル方ガ、専門家同士デ結構カト存ジマス

○前田政府委員 只今清水サンノ御尋ノ點ハ大體大臣カラ御答ナサイマシタヤウニ、近年ハ地方鐵道ノ出願ガ極メテ少イノデアリマス、私ガ監督局長ニ就任シマシテ以來、免許ヲ致シマシタ鐵道、軌道ト云フモノハ唯一件ト心得テ居リマス、左様ナ狀況デアル譯デアリマス、然ラバ方針ハドウカト申シマスレバ、只今大臣カラ御答ニナリマシタヤウニ、多大ノ資本ヲ固定セシメルト云フコトガ、鐵道、軌道ノ先ヅ一ツノ特色デアリマスノデ、ソレガ一度投資サレマスト、中々撤去スルコトガ難カシイ、價值ガナカタ、或ハ收支ガ償ハナイト言ッテモ、廢メルコトハ中々困難デアリマスルガ故ニ、免許ノ時ニハ慎重ニシナクチャナラヌコトハ申スマデモナイノデアリマス、サウシテ地方鐵道、軌道ヲ免許シマスコトハ、或ハ地方ノ開發デアルトカ、或ハ産業ノ發展ニ資スル

所ガアルトカ、或ハ文化ニ寄與スルトカ、サウ言ッた公益上ノ理由ガアッテ、其處ニ鐵道若クハ軌道ト云フ交通機關ヲ施設スルコトガ公益上宜イ、斯ウ云フコトデナケレバ

ナラヌ譯デアリマス、是ハモウ昔カラ方針トシテ別段變タコトハナカッタと思フノデアリマス、最近ニ於キマシテ特ニ吾々が留意シテ考ヘナクチャナラヌコトハ、鐵道、軌道ト云フヤウナモノヲ造ルノト、他ノ新興交通機關、即チ自動車ト云フヤウナモノヲ其處ニ動カスコト、利害果シテ如何、斯ウ云フコトヲ考慮ノ中ニ加ヘルヤウニナッタ

ト云フコトガ、最近ノ地方鐵道、軌道ノ免許ニ關スル方針ノ違ッテ參リマシタ一ツノ點ダラウト考ヘテ居ルノデアリマス、其外ニ無論發起人ト申シマスカ、其經營ノ術ニ當ッテ居ル人ガ信用ガアッテ、其人ノ手デアレバ成程是ハ巧ク行ケサウダト云フコトノ確信ヲ得ルコトモ必要デアリマスシ、又人ノ關係ヲ離レマシテ、サウ云フ企業ガ企業トシテ將來成立ッテ行ク、即チ間違ナク交通機關トシテノ使命ヲ果シテ行クコトガ出來ルト云フ確信ヲ得ルコトモ必要デアリマス、併ナガラ特ニ茲暫ク前カラノ附加ヘマシタ方針ト致シマシテ、自動車トノ機能ノ差ニ依ッテ生ズル點ヲ能ク考慮ノ中ニ入レテ、サウシテ

地方鐵道、或ハ軌道ヲ許スカト云フコトノ見極メヲ附ケルト云フコトニ致シテ居リマ

ス
○清水委員 サウスルト許シタ後ニ於キマシテ補助金ヲ遣ラナイデ濟ム場合モアリマセウシ、又許シタ後デ補助金ヲ遣ルヤウナコトガ生ズルコトヲ豫期シテ御許シニナルモノモアリマセウ

○前田政府委員 補助金ト地方鐵道ノ免許トノ問題ハ、是ハ補助金ガ要ラナイ、若クハ補助金ヲ出サナイト云フ場合モアリマ

ルシ、又補助金ヲ出スト云フコトヲ當然豫期シテ居ル場合モアル得ルト思フノデアリマス、ソレハドウ云フコトカト申シマスルト、補助金ト云フモノハ現在ノ制度ニ於キマシテハ、茲ニ或ル地方鐵道ノ免許ノ申請ガアル、成程是ハ將來只今申上ゲマシタヤウナ趣旨ニ合致致シマシテ、交通機關トシテ有用デアアル、ダカラ當然免許ヲスベキデア

ル、斯ウ考ヘマシタ時分ニ、併ナガラ此地方鐵道ハ出來タ時カラ直グ一本立チトシテ收益ヲ擧ゲテ、サウシテ交通機關トシテノ機能ヲ十分發揮シテ行クト云フコトハ不可能デアアル、假スニ相當ノ時期ヲ以テサウシテ段々成長サシテ行クナラバ、鐵道ト致シマシテ交通機關ノ使命ヲ果スコトガ出來

ル、斯様ナ見込ヲ付ケマシタ場合ニ、其地方鐵道ガ成長シテ行キマス間ノ補ヒヲ付ケテアル、斯ウ云フ意味ニ於テ補助金ト云フ制度ガ出來テ居リマスノデ、隨テ具體的ニ

地方鐵道ヲ免許シマス場合ニ、補助ヲ豫期シテ居ル場合モアレバ、豫期シナイ場合モアリ得ル、唯實際ニ補助金ヲ支給スルト云フコトハ其年々ノ豫算ノ制時ヲ受ケマシテ、具體的ニドノ地方鐵道ニ補助金ガ行クカト云フコトノ詮議ガアリマス譯デ、其邊ノ事ハ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○清水委員 此處ヲ餘リ押問答スルト意地惡クナルノデスガ、私ノ申上ゲマスノハ斯ウナノデアリマス、斯ノ如クニシテ私設鐵道ノ新線ノ願出ガ少イ、乃至又許可スル場合モ極メテ少イトスルナラバ、寧ロソレハ國家デ建設スル、豫定線ニナクテモ、ソレ程重要ナ線ナラバ國家ガ敷イタ方ガ宜イノデハナイカ、モウ一ツ言葉ヲ換ヘテ言フナラバ、段々國策トシテ私設鐵道ヲ減ラシテ國有ニ統制ヲ取ッテ行クノガ大局カラ見テ宜イノデハナイカ、斯ウ云フコトノ結論ヲ得タイガ爲ニ、先ッキカラ問答ヲ重ネテ居ル

ノデアアル、私設鐵道ガ經營困難ニナルト云フコトハ、公益ノ爲カラ非常ニ不利益ナノデアリマス、實銀ガ高クテサウシテ設備ガ

惡イ、少シモ宜イ所ガナイ、公衆ハ甚ダ迷惑デアアル、國家ガ初ニ許シテ置イテ、サウシテ補助金モ貰フ資格ガアルノニ一方ノモノニ補助金ヲ遣ッテ、他方ノモノニ補助金ヲ遣ラナイカラ經營ガ困難デアアル、ソレナラバ補助金ヲ遣ルト云フ制度ヲ廢メレバ宜イ、苟モ補助金ヲ遣ルト云フ制度ヲ設ケタ以上ハ、資格ノ有ルモノニハ悉ク遣ルト云フコトニセラレナケレバ、本來ノ精神ガ徹ラナイ、七百五十萬圓ノ補助金デハ十分デナイ、今日資格ノ有ルモノヲ皆入レ、バ一千萬圓ノ金ガナケレバイケナイ、イケナイノニ本會議ニ於ケル鐵道大臣ノ御答辯ニ依リマス

ト、今ノ所ハ之ヲ遣ルト云フ考ハナイ、斯ウ仰シヤレバ公共ノ爲カラ考ヘテ見タ時ニ、ドウモ甚ダ困ル、故ニ將來ハ成ルベク許サナイ方針デ行カウ、サウシテ許サナケレバナラヌ必要ノアルモノナラバ、國家自ラ前大臣ガ才遣リニナッタヤウニ敷設法ノ改正ヲ行ッテ、サウシテソレヲ建設セラレテ行クノガ寧ロ宜イノデハナイカト云フコトニナルト思ハレマスガ、鐵道大臣ハドウ考ヘラレマスカ
○内田國務大臣 仰セノ如ク日本ノ鐵道ハ原則トシテ、申スマデモナク國有鐵道法ニ明記シテアリマス通り、國有ガ原則デアリ

マシテ、一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ國有トス、但シ一地方ニ限リテ運送ノ用ニ供スル私設鐵道ヲ認メル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、原則ト致シマシテハ清水サンノ仰セノ通り、國有鐵道ニスルノガ當然デ、是ガ原則デアルト私ハ考ヘテ居リマス、但シ財政モ顧慮致サナケレバナラズ、公債ノ發行ト云フコトニモ意ヲ用ヒナケレバナリマセヌノデ、現ニ本年ハ減債基金ヘ

シツ、堅實ニ進ミタイ、斯ウ云フ觀念ト、而シテ又建設線ハ昨年三土君時代ニモ、亦其前ニモ所謂追加、繰上等ヲヤリマシタノデ、本年ハ先ヅ新シイコトハ廢メテ、サウシテ徐ロニ計畫ヲ立直シテ、昭和十一年度マデニ一ツ成案ヲ得ヤウ、斯ウ云フ考デ本年ハ建設及買収ニ對シテハ足踏シタイト思フデ、私ハ足踏ヲシタ次第デアリマス

尙ホ補助金ノコトニ關シマシテハ、實ハ此間私ハ本會議ニ於テ、清水サンノ御尋ニ對シテ、多少御氣ニ觸ツタヤウ答辯ヲ致シタカモ知レマセヌガ、實ハ内輪ヲ申セバ斯ウ云フ譯デ、ソレハ私設鐵道ノ補助金ヲ三土君ガ初メ七百五十萬圓ヲ七百萬圓ニ下ゲ、ソレヲ昨年七百三十萬圓ニ上ゲタ、サウシタ所ガ、衆議院ニ於テ鐵道ノ財政ガ許サヤウニナツタナラバ、七百五十萬圓ニ復活シロト云フ決議ヲ付ケテ居ル、ソコデ之ニ對シテ色々相談ヲシタノデスガ、是ハ實ハ貴族院其他ニ於ケル或ル論者ノ說ヲ私ガ本會議デ申上ゲタノデアリマス、ソレデ何ダ之ヲ

但シデアリマスカラ、運輸系絡上買ヒタイ線ハ幾ラデモ胸中ニハゴザイマスガ、本年ハ足踏シタイト云フ意味デアリマフ

○清水委員 大體了承致シマシタ、何モ私ハ揚足ヲ取ルノデハアリマセヌガ、實ハ私等ハ七百五十萬圓ト云フモノハ、私設鐵道ノ經營ノ樂ナ時代ノ金額デアリマス、ソレガ困難ナ時ノ總額デハナイ、困難ナル時ニ及ンデ鐵道モ困難ニナツタカラト云フデ五十萬圓御減シニナツタ、故ニ私等ハ御減シニナツタ時ニ頗ル不當デアルト言ツタノデス、其時ノ鐵道大臣ノ御答辯ハ、鐵道ノ利益ノ中カラヤルノデアアルカラ我慢シテ呉レ、ソレモ一應尤デアリマセウ、併ナガラ元來鐵道ノ補助金ト云フモノハ國庫ノ別ノ方カラ出シテモ宜イ、補助金ヲ法律ニ決メテ居ル以上ハ、國家ガ何處カラソレヲ出シテ行ツタ方ガ宜イ、ソレガ出場所ノ何處タルトハ問ハナイ、思フニ七百五十萬圓ハ私設鐵道ノ經營ノ樂ナ時ニ計上シタ補助金デアアルカラ、經營困難ナル時ニナツタナラバ増シテ行クベキモノデアアル、ソレデ三土サンノ御考ハ間違ッテ居ッテ、内田鐵道大臣ノ御考ノ方ガ私ハ正シイト思フノデアリマス、ソレデ將來ヲ考慮シテ行カレルヤウナ御考デアリマスカラ私ハ洵ニ結構ナル御考ト思ヒマス、

千五百萬圓、ソレカラ十年度公債ヲ豫定ヨリ千萬圓落トシ、昭和九年度モ、是ハマダ過ギテ見ナケレバ分リマセヌガ、矢張相當豫定公債發行額ヨリ減セラレルノデアッテ、合計三千數百萬圓ハ豫定公債發行額ヨリ減ジ、若クハ減債基金ニ入ッテ、昭和十年度ノ豫算ニ於テ始メテ國有鐵道會計ニ於ケル支拂利子ガ減ズルノデアリマス、十年度ニ於テ漸ク斯ノ如クナリマシタガ、一方ニ於テ此節國有鐵道ニ於テハ不經濟線ガ段々延ビテ行ッテ、一軒當リノ收益ガ年ト共ニ減ッテ行キマスカラシテ、國有鐵道ノ前途ヲ憂ヘマシテ、私ノ任期ハ固ヨリ僅デゴザイマセウガ、將來永久ノ國有鐵道ノ前途ヲ思ヒマシテ、唯一時的ノ人氣ヲ得ル爲ニ儲ツタ金ヲバット使ッテシマウト云フコトヲ致サズ、財政ノ基礎ヲ堅固ニ致シ、支拂利子ヲ減ラ

増スノハ、今マデ不景氣ノ時ニ七百三十萬圓デ宜カッタモノヲ、此節ハ景氣ガ回復シタノニ殖ヤス奴ガアルカトカ、或ハ十年ノ期限デ以テ私設鐵道ノ補助年限ハ切レルノダカラ、毎年々々補助サルベキ會社ノ指定線

ガ減ッテ行クノデハナイカ、サウシテ新線ハ只今監督局長カラ申上ゲタ通り許可致シタモノハ、私就任以來僅カ一本シカナイト云フ譯デスカラ、新シイ線ハ一年ニ一本位デ、十年満期ニナツテ、補助ヲ受ケル資格ノ有ルモノハドン／＼減ッテ行クノデアアルカラ、金額ハ七百三十萬圓ニ押ヘテ置イテモ、補助サレル會社カラ見レバ金額ハ殖エテ來ルノデアアルカラ、默ッテ放ッテ置ケト云フ論ガアツタノニ對シテ、私ハ衆議院ノ院議ヲ重ンズル、私ハ立憲政治家トシテ重ンズル、當時私ハ政友會ニ屬シテ居リ、三土君ハ當時鐵道大臣トシテヤッテ居ッタ、ソレニ對シテ私モ院議ニ加ハッテ賛成シタノデアリマスカラ、其院議ヲ重ンジテ私ハ七百五十萬圓ニ殖ヤサウ、是ダケデモ實ハ其ニツノ論ニ對シテ私ハ十分ニ對抗シテ殖ヤシタト云フ私ノ熱意ヲ申上ゲタノデアリマスガ、本會議ノコトデアリマスカラ、言甚ダ簡單デアリマシテ、私ノ意ノ在ル所ヲ盡サナカッタコトヲ遺憾ニ存ズルノデアリマス、サウ云フ譯デ二ツノ反對論ヲ押切ッテ、先ヅ七百五十萬圓ニシタノデアリマスガ、私設鐵道ノ窮況ニ對シテハ頗ル同情致シマスト共ニ、財政ガ之ヲ許スナラバ、本來大體ニ於テ國有鐵道トス但シト云フノデ、其アトガ

更ニ私ハ他ノ點ニ付テ御尋シテ行キタイト思ヒマス、此許可ノ方針ヲ先程ハ私設鐵道ニ付テ御尋致シマシタガ、今度ハ許可ノ方針ヲ自動車ニ付テ御尋シタイト思ヒマス、本會議シテ私ガ自動車ノ點ヲ御尋シマシタノハ、私設鐵道ガ困テ居ルカラ其點ニ關聯シテ尋ネタノデアリマスケレドモ、將來自動車ノ許可ニ付テハ私ハ餘程異議ガアルノデアリマス、鐵道省ノ役人ガ僅カノ人員デ取調十分ナラズシテ此自動車ノ許可ヲナサルノハ非常ニ危險ニ感ズルノデアリマス、危ナクテ危ナクテドウニモ仕樣ガナイ、僅カノ人デ机ノ上デ調べ許可シテ善イカ惡イカ、ソナコトガ分ルカト言ヒタイノデアリマス、縣廳ニ許可權ガアッタ際、縣廳ノ役人ガ自動車ノ路線ヲ、土木ノ人モ見ナケレバ、許可スル權能ヲ有ッテ居ル保安課ノ人モ見ナイデ、唯ダ村長ノ推薦ニ依ッテ、圖面ノ上ニ胡麻化シヲ持ッテ來タ所ニ許シタノガアル、驚イタンデス、ドウモ線路ノ無イ所ヘ、ソレモ曾テ鑛山ノ盛シナ時ニ私的ニ出來タ道路ガアル、其道路ガ恰モ本當ニ村道ニ入ッテ居ルヤウナ形デ、村長ガ言ッテ來タモノダガ、實ハ戶籍面ニナイ道路ダ、而モソレガマダ自動車ガ通レルカ通レナイカ分ラナ

イ、草茫々タル所ナンデス、其處ヘ自動車ノ開通ヲスルンデナクテ、唯權利ヲ與ヘルダケニ許シタ例ガアル、ソコデ私ハ驚キマシタカラ保安課ニ行ッテ、君等此頃線路ノナイ所ヘ自動車ヲ許シタネ、ドウシテ運轉スルンダ、線路ノナイ所ヘ自動車ヲ……イヤソナコトハアリマセヌト言デ頑張ッテ居ル、ソレデヤ君等ノ方デ誰カ視ニ行ッタカト調べテ見タ所ガ、誰モ行ッタ者ハナイ、現場ノ土木出張所ノ技師サヘモ視テ居ナイ、呆レ返ッタ、縣デサヘサウ云フコトガアル、況ヤ國內全體ノ出願ヲ机ノ上ニ於テハ分リ難イ、故ニ鐵道省ノ監督局ノ人員ガ足ラヌ爲ニ、自動車ノ認可ヲ受ケル時ニ、地方ガドノ位惱ンデ居ルカ知レナイ、私ハ從來カラ之ヲ屢言フテ居ルノデスガ、ドウカ監督局ニ本當ニ自動車ノ經驗ヲ有ッテ居ル人ヲ集メテ、相當ナ人數ヲ具ヘナケレバ公正ナコトハ出來ナイデヤナイカト云フコトヲ思フ、思フニ付テ鐵道大臣ガ其監督局ノ人數ヲ増スコトニ付テ、ドウ考ヘテ居レルカト云フコトヲ先ヅ御尋致シマス

○内田國務大臣 自動車ノ津々浦々ニ對スル路線ノ認可ヲ、本省ノ樓上ニ於テ之ヲ通覽シテ、細ヨリ微ニ互ッテ之ヲ檢査シテ認可スルト云フコトハ、是ハ御説ノ通り、ソレハ私萬遺漏ナキヲ期シマスと言ヘバ、ソレ迄デアリマスケレドモ、御説ノ通り中々萬遺漏ナキヲ期スルコトハ困難ト存ズルノデアリマス、事實鐵道軌道デシタラバ、ソレハ長イ線デスカラシテ、調査モ行届キマシガ、元來僅ナ自動車ノ短カイ線路ニ對シテ、容易ニ之ヲ「インスベク」スルコトハムツカシイ、經營モ一體役所ガヤルト云フコトハ中々自動車ハムツカシイコトデアリ、又監督行政ノ上ニ於テ、之ヲ許可スルト云フコトモ、隨分ハ實際ニ當ッテハ、私ハ時ニ粗相モ手落モアリハセヌカト云フコトヲ恐レマスガ、併シ縣デヤッテ居ルヨリカハ、縣デ調べテソレカラ鐵道省ガヤッテ居ル方ガ、更ニモ一遍調べルノデスカラ、二重監督ノヤウナコトニナッテ居リマスカラ、私ハマダ其方ガマシダ、而シテ又清水サンガ御心配ノ統制ヲ執ル上ニ於テモ、鐵道省デヤレバ一ツモ間違ナイト云フヤウナコトハ申シマセヌ、遺漏ガ多クノ中ニハアルデセウ、併シ交通統制ヲ執ル上ニ於テ、ドウシテモ鐵道省ガ今ヤルヨリ外ナイノデ、一番最上ノ方法トシテヤッテ居リマセヌ、併シ人間ハ決シテ十分トハ考ヘテ居リマセヌ、少シ増シタサウデスガ人間ノ數ハ私ハ記憶シテ居リマセヌ、後デ御答ヘシマスガ、矢張

ソレヲ氣ガ付キマシテ、幾人カ増シタヤウニ私ハ心得テ居リマス

○清水委員 私ガ斯ウ云フ質問ヲ申上ゲルノハ、此私設鐵道ノ買収トカ、建設トカ、改良トカ云フコトニ段々關係シテ居ルカラ、輪廓ノ方カラ固メテ行クノデスカラ、結論ニ於テ無駄ニナラヌ積リデスカラ、ドウカーツ御答ヲ願ヒタイノデスガ……

○内田國務大臣 今ノハ二十人増シタサウデゴザイマス

○清水委員 自動車ヲ御許シニナル御方針トシテ、一路線一營業者主義ヲ貫徹ナサル御積リデゴザイマスガ、ソレヲ伺ヒマス

○内田國務大臣 原則トシテハ一路線一營業主義デゴザイマスガ、特ニソレバカリヲ固執スル譯ニモ行キマセヌノデ、事情ニ依ッテ一路線二營業者主義ト云フコトモアリマスガ、ソレハ監督局長カラ事實ニ互ッテ今御返事シタ方ガ宜イト思ヒマス

○前田政府委員 只今大臣カラ御答辯申上ゲマシタ通りニ、原則トシテハ一路線一營業主義ヲ採ッテ居リマス、但シ或ハ公益ノ必要上、モウ一營業ヲ許ス方ガ宜イト、斯ウ云フ場合ニハ、二營業ニナッテ居ル場合モアリマス、例ヘバ一營業者デハ運ビ切レナイト云フヤウナ場合モアリマセウシ、ソ

レカラ或ル區間ハ一路線二營業ニナルケレドモ、ソレヲズウト向フヘ參リマシタ時ニ系統ガ違フテ居ル、ダカラ全體トシテハ別箇ノ使命ヲ有テ居ル自動車ガ、偶、或ル區間ニ於テ並行シテ、一路線二營業ニナルト、斯ウ云フヤウナ場合モアリマセウシ、サウ言ッタヤウニ必要已ムヲ得ザル場合ニハ、二本許シテ居ルヤウナ場合モアリマス

○清水委員 一路線一營業者主義ヲ貫徹スル上ニ於キマシテ、現在色々競争シテ居ル爲ニ賃銀ハ安クテ、一方ニ於テハ旅客ナリ地方ノ人ニ便利ノヤウデアリマスケレドモ、利益ノ薄イ結果トシテ設備ガ悪クテ、事故ナドヲ時々起スコトガアルノデゴザイマスガ、若シ無益ナル競争ヲシテ居ル、詰リ元來一路線一營業デヤッタ方ガ、其線路ノ性質上サウ御客モ澤山ナイノダカラ、サウスベキモノダト思ハレルニモ拘ラズ、サウデナイ場合ガアルノデスガ、サウ云フ場合ニハ合併勧誘ノ御方針ヲ執ッテ居ラレマスカ、ドウデアリマスカ

○前田政府委員 只今御話ノコトハ具體的ニドウ云フコトカ存ジマセヌガ、鐵道省ガ免許ヲスルヤウニナリマスル以前ニ、地方廳ガ免許シテ居リマシタ場合ニ、比較的多數ニ一路線二營業ト云フノガ許サレテ居ル

ヤウナ例ガアルヤウニ考ヘテ居リマス、場合ニ依リマシテハ一路線二營業ヲ以テ原則トスルノデナイカト云フ風ニ考ヘラレルヤウナ地方モ、ナイデハナカッタヤウニ思フノデアリマス、サウ云フモノニ對シマシテハ私共ハ機會ノアリマスル度ニ、或ハ業務協定ヲ致シマスルトカ、或ハモウ一步進ンデ讓渡若クハ合併ト云フヤウナ方法ニ依ッテ、一本ニスルトカ云フヤウナ態度ヲ致シマシテ、不必要ナル路線ガ二本同ジ道路上ニ走ルト云フコトハ、成ベク避ケテ行キタイ、斯ウ云ウ風ナ方針デ日常仕事ヲ致シテ居リマス

○清水委員 例ヘバ溫泉組合ノ乗合自動車ガアル、詰リ或ル驛カラ或ル溫泉場ニ行ク場合ニ於テ、其溫泉場ノ經營上溫泉組合ガ自動車營業ヲヤッテ、サウシテ一方ニ於テハ賃銀ヲ勉強シ、御客ヲ吸收スルコトガ非常ニ便利ナ場合ガアル、サウシテサレガサウスルコトニ依ッテ溫泉場ガ非常ニ榮エ設備モ能ク出來ルカラオ客モ便利ヲシ、事故モ少イ、然ルニ茲ニ色々ノ利害關係ヲ有ッテ居ル人ガ色々當局ニ運動ヲシテ、從來ソレヲ打破ル爲ニ、新ニ個人ニ許シテ混雜ヲ來シタヤウナコトガ屢アル、切角溫泉組合ニ統制サレタカト思フト、後カラ來テブッ

壞スヤウナコトガアルノデアリマシテ、斯ウシタコトニ付テハ、ソレハ鐵道省ニ御統制ニナッテカラハ、サウシタコトハナカラウトハ思ヒマスガ、其統制ナサル際ニ、一ツニ合併ナサル際ニ、誰ニ合併サセタ方ガ宜イカト云フヤウナ問題ハ、能ク地方ノ事情ヲ研究シテ勧誘ナサラナイト、非常ナ間違ヲ生ズルコトガアルノデアリマシテ、私ハ參考ニ一言申シタ次第デアリマス、尙ホ私ハ此自動車ノ許可ニ付キマシテ自動車ノ經營團體ガ、例ヘバ溫泉場ノ如キハ溫泉組合ニヤラシタ方ガ宜イノデスガ、或所ハ公共團體ニヤラセレバ宜シ、或ル所ハ私設鐵道デ私ノ申サウトスル所ハ、私設鐵道ガ此頃段々振ハナクナッテ來ルコトハ何處ニ原因致シテ居ルカト言フト、自動車ガ段々伸びテ來タ結果デアアル、ソコデ私設鐵道ガ自分ノ經營上、自分ト競争ニナル場所ニ付テハ、自分自ラガ經營方針ヲ立テヨウトスルノハ、是ハ無理カラヌコトデアアル、サウシテ又公共團體モ成ベク、從來ウツカリ思ッテ居ッタ、自分ガ公共團體トシテ電車ヲ經營シタ當時ハ、自動車ナドハ何デモ宜イト思ッテ無茶苦茶ニ許シテ來タガ、倍テ今ニナッテ考ヘルト、自動車ノ進出ニ依ッテ電車ノ經營ガ非常ニ

困難ヲ來シテ來ル、困難ヲ來シテ來ルニ付テ、電車ヲ經營シテ行クノニハ何トカ自動車ヲ自分ノ方ニ取入レナケレバ、經營ガ困難デアルト云フ所モ出來テ來タノデアリマス、ソコデ私ノ言ハントスル所ハ、是ハ私設鐵道ト自動車ノ許可方針トカ、經營方針トカ、指導方針ト云フモノニ統制ガ取レテ居ラナイカラ、初カラ指導方針ガナカッタカラ、ソコニ來テ居ルノデハナイカト云フコトヲ承ラントスルノデアリマス、之ニ對スル鐵道大臣ノ御抱負ヲ先ヅ聽キマシテ、具體的ニ更ニ分ケテ御尋シヨウト思ヒマス

○内田國務大臣 私設鐵道及ビ軌道ガ近頃自動車ノ異狀ナル發達ニ伴ッテ立行カナクナッタト云フコトハ、御説ノ通り御同感デゴザイマス、就テハ固ヨリ文化ノ發展上自動車ガ現レテ來ルノヲ、ソレヲ阻止スルト云フコトハ民衆ノ利便ニ關シマスカラ、自動車ハ自動車デ助長シテ行カナケレバナラズ、同時ニ自動車ガ發達スレバ、私設軌道、鐵道ガ困ル、斯ウ云フノデスカラシテ、矢張他ノ例ヘバ地方公共團體、即チ市ガ經營スルト云フヤウナ場合、又市ガ道路ヲ作ッテドウトカ云フヤウナ特殊ノ例モゴザイマスカラ、一概ニ必ズ斯ウスルト云フノデヤアリマセヌガ、私ハ原則トシテ私設鐵道及

ビ軌道會社ノ側ニ自動車路線ヲ新ニ許スナ
ラバ、同ジ許スナラバ是ハ私設鐵道及ビ軌
道會社ニ許シテ、損害ヲ未然ニ防ガシテヤ
ルノガ私ハ本來ノ性質デヤナイカト、サウ
感ジテ許可ノ方針ヲ取ッテ居リマス、固ヨ
リ只今申上ゲタ通り、ソコニ市ト競争ニナ
ルトカ、市モ出願スル、競願ニナル、而
シテサウ云フ場合ニ二線ヲ其處ヘ許スコ
トガ出來ナイ場合ニ於テ、或ハ市ニ許スコ
トモ固ヨリアリマセウガ、併シ大體ニ於テ
「ブライベート」ノ、詰リ個人ノ競願ニナ
タヤウナ場合ニ於テハ、固ヨリ私設鐵道及
ビ軌道會社ニ優先權ヲ與ヘテ之ヲ保護シテ
行クノガ當然ダト存ジマス

○清水委員 大體御許可ノ方針ガ分リマシ
タガ、今度ハ私設鐵道ノ買收ノ事ニ付キマ
シテ——先程カラ私ハ私設鐵道々々々々ト
言ッテ居リマスガ、軌道モ含マレテ居ルモ
ノト御理解願ヒタイ、餘リ一々「及ビ軌道」
ヲ言フノハ、ドウモ煩雜ダト思ヒマシテ、
ソコデ其買收ノ御方針ヲ承ラウトスルノデ
アリマス、鐵道大臣ノ此度御提案ニナル所
ヲ見マス、私設鐵道ノ買收ト云フモノハ
公共ノ必要ノ爲ニ買收スルノデアアルガ、其
公共ノ必要ト云フノハ、單ニ建設ノ場合ノ
ヤウニ考ヘテ居ラレレンデヤナカラウカト

云フ懸念ガアルノデアリマス、少クモ建設
ノ場合ガ最も必要ダト御考ニナッテ居ラレ
ルンデヤナイカト云フヤウナ氣ガスルノデ
スガ、如何デゴザイマセウ

○内田國務大臣 私設鐵道ヲ買收致シマス
ノハ、建設上ノ必要カラハ當然デゴザイマ
ス、是ハ固ヨリ御説明申上ゲル必要モゴザ
イマセヌガ、私ノ買收スベキ場合ト申ス
ノハ、建設上ノ外運輸繫絡上モ固ヨリ入ッ
テ居ル、私設鐵道ヲ買收シタナラバ、國有
鐵道トシテノ運送繫絡ノ上ニ於テ利便ヲ來
スト云フヤウナ場合ニハ、之ヲ買收致シタ
イト考ヘテ居ル、而シテ然ラバ繫絡上ノ買
收ハ本年ハナイカラ、内田才前ハ繫絡上買
收スベキ必要ニ迫ラレテ居ル線ハナイカ、
斯ウ云フ御問デゴザイマシタラバ、ソレハ
私ハ決シテ無イトハ申シマセヌ、繫絡上モ
今後買收シタイト思ッテ計畫ヲ樹テ、考ヘ
テ居ル線モ尙ホアルノデゴザイマスガ、唯
本年ハ建設モ先ヅ今迄ズットヤッテ來、買收
モ今迄續ケテヤッテ來タシ、公債發行ノ件モ
アルカラシテ、先ヅ此邊デ一ツ根本的ニ調
査ラシテ、一休ミシテ昭和十一年ニ計畫ヲ
樹テ直サウ、本年ニ考ヘテ樹テ直サウ、斯
ウ云フ考ヲ有ッテ居ルコトヲ申上ゲテ置キ
マス

○清水委員 大體片鱗ヲ伺ヒマシタカラ、
強テ御追究ヲ申上ゲルノデアアリマセヌ
ガ、鐵道大臣トシテハ甚ダ心細ク私ハ感ズ
ルノデアリマス、實ハ死ナレタ藤井藏相ガ
御考ヘニナッテ、死ナレル位ナ御心配ラシテ
オイデルノヲ御救ヒニナラウトシテヤラレ
タコトデスカラ、私ハ其溫カイ御同情ト誠
意ハ諒ト致シマシテ、好イ思ヒ付キダトハ
思ヒマスケレドモ、私ハ鐵道大臣ト云フ立
場カラ考ヘタ時ニ、何トナク心細ク感ズル
ノデゴザイマス、アノ當時ノ鐵道大臣ノオ
ヤリニナッタ事ハ宜シイニシロ、ソレハ總
理大臣トカ大藏大臣トカ、ラ、是ハ國家ノ
公債政策上、枉ゲテアナタノ主張ハ、之ニ同
情シテ呉レナイカト云フ懇願ノオ百度ヲ踏
ンダ上ニ於テ、アナタガ快氣ヲ出サレタノ
ナラバ私ハ御尤ダト思フケレドモ、自分自
ラ進ンデ自分ノ内ノ仕事ヲ放ッテシマッテ、
餘所ノ仕事ノオ手傳ラシタヤウナ感ジガス
ルノデ、其點ハ私ハ甚ダ喰足ラナク感ズル
ノデアリマス、私ノ結論ヲ言ハウトスルノ
ハソコナンデアル、善イ事ヲ爲ステケチヲ
付ケラレルノハ甚ダ本意デアリマセウケ
レドモ、鐵道ノ方ノ事ヲ考ヘテ居ル者ノ立
場カラ考ヘルト、私ノ言ハントスル所モ無
理カラヌ所ガアルコトヲ御承知願ヒタイ、

一方ニ於テハ私設鐵道モ經營ガ困難デ
アル、ソレヲ買收シタ方ガ私設鐵道ガ救
ハレルバカリデナシニ、國家ノ上ニ利益ヲ
舉ゲルコトガ非常ニ多イ、今日ノ私設鐵道
ノ經營ガ困難ナ結果國有鐵道ガ運輸繫絡上
私設鐵道ヲ買收セザル爲、民衆ガドノ位惱
ンデ居ルカト云フコトヲ御存ジノ筈ダ、鐵
道大臣ハ商人育チデアラレルニ拘ラズ、案
外御理解ガ——御理解デヤナイ、御同情ガ
少イヤウナ感ジガスルノデアリマス、私ニ
言ハセルナラバ、二十七哩一分デ、サウシ
テ七八十萬圓ト云フ是レダケノ買收シカ爲
サラナイ、私ハ是ハ非常ニ喰足ラヌ、モッ
思切ッテ公益上、運輸繫絡上、又軍事上必要
ノアル所ハ爲サッタラドウカ、私設鐵道ノ買
收ハタッタ是レダケデアアル、買收ノ價格ニ付
テ言ヘバ、ホンノ申譯のデアアル、建設ノ方
モ僅カデ大シタモノデナイ、サウシテ先程
今年休ンデ十分計畫ヲ立テ、ヤラウト言ハ
レタガ、ソレハ鐵道大臣ニ似合ハヌコトヲ
仰ッシャル、鐵道大臣ハ中々機敏デ、實行力
ガアッテ、計畫ガ早く立ツシ、御決斷モ早イ
ノダカラ、アナタノ省バカリガ計畫ガ立タ
ナケレバ仕事ヲセナイト云フコトハ、私等
ハソレハ納得出來ナイ、アナタノ性格カラ
言ッテ逸早く計畫ヲ立テ、積極的ニ思切ッ

テ御仕事ヲ爲サルカト、少クモ私ハ今日マデ期待シテ居ッタノデアリマス、ソレガ裏切ラレタ、其點ハ私が最も遺憾トスル所デアリマス、ソレデアルカラ建設ヲ爲サル所モ少イシ、サウシテ私設鐵道ノ買収モ少イシ、而モ建設ノ爲メバカリデナク、運輸計畫上、或ハ軍事上買収シナケレバナラヌ線ガ相當ニアル、ソレヲ御氣付キデアアルノニマダ爲サラナイノハ甚ダ残念デアルト思フ、ソレヲ爲サラナイデ、人カラ頼レナイノニ先ニ俠氣ヲ出サレタノハ、私等ガ知ラナイ何カ外ノ特別ノ理由ガアリマシタノデスカ、御尋シタイノデアリマス

○内田國務大臣 今清水サンヨリ建設モ買収モシナイデ、ソレデ減債基金ハ誰ニモ頼マレモセヌノニ繰入レテ怪シカラヌト云フ御言葉デゴザイマシタガ、私ハ寧ロ其點ハ、サウ言フト又御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、民政黨ノ方々カラハ御褒メヲ戴クト實ハ思ッテ居ッタノデアリマス、民政黨ハ元來小川郷太郎君等ガ豫算總會ニ於テ——私モ豫算委員ハ議員ニ出テ以來ズツト勤メテ居リマスガ、小川郷太郎君等ノ御意見ハ始終承ッテ居リマシタガ、公債ヲ濫發スルノ弊ヲ避ケテ、サウシテ鐵道ニ於テハドチラカト言ヘバ改良ヲ主トシ——決シテ改主建

從——ト云ッテ銘ヲ打ッテ譯デハアリマセヌガ、先ヅドチラカト言ヘバサウデアリマス、ソレカラ政友會ノ方ハドチラカト言ヘバ、建設ヲドシ——公債政策デヤレ、斯ウ云フノデアアル、私ハ今度ノ政策ニ付テハ、或ハ政友會カラ御叱言ヲ頂戴シテ、民政黨カラ御褒メヲ頂戴スルモノト實ハ期待シテ居リマシタ所ガ、アベコベノ御話ガアッタコトハ、頗ル私ノ意外トスル所デアリマスガ、固ヨリ大勢ノ政友會員、大勢ノ民衆黨員デゴザイマスカラ、其人々ガ全部同ジ肚トハ存ジマセヌガ、私ハ同ジ民政黨ノ中ノ町田總裁等ヨリハ非常ナ御褒メヲ頂戴シテ居ルノニ、茲ニ清水サンノ御叱リヲ頂戴スルコトハ洵ニ意外ニ感ズルノデアリマスガ、決シテ鐵道ノ仕事ヲ抛ッテ、減債基金ニ繰入レタト云フ意味デハゴザイマセヌデ、先ヅ最初ニ方針ヲ立テ、本年ハ建設計畫ハ從來三度モ續ケテ變ヘテ來タノデ、又變ヘテハイカヌ、斯ウ思ッテ此處デ一年追加——追加ト云フノハハイカヌカラ止メヨウ、サウシテ伸ビント欲スルモノハ先ヅ屈セヨ、而シテ改良工事が遅レテ居ル、是ハモウ釋迦ニ説法デスガ、車が足りナイ、折角複々線ナンカ出來タッテ車が足りナクテ、十一月カ十二月ニナルト荷物ガ驛ニ山ヲ成ス、是

デハ商賣ニモナリマセヌシ、又運輸ノ目的モ達セヌカラシテ、二千八百萬圓程改良ヘ追加ヲ致シマシテ改良工事ヲ爲ス、ソレカラシテ建設モ從來ノ計畫ノ四千八百萬圓ニ、今回又近日追加豫算トシテ要求致シマスル、アノ三百五十萬圓ノ東北振興ノ爲メノモノヲ入レマス、昭和十年度ハ五千五百五十萬圓ノ建設デ、近年ニ於ケル最高ト私ハ存ズルノデアリマス、改良モ九千萬圓ニ近く、而シテ建設モ五千萬圓ヲ超エ、昭和十年度ノ仕事トシタラ、事實近年ニ比シテ頗ル劣ッテ居ルノハ御指摘ノ私設鐵道ノ買収ダケデアリマス、故ニ私が此間矢張本議場ニ於テ端的ニ、私設鐵道ノ買収ダケガ仕事デヤナイト憎レロ見タイナコトヲ利キマシタガ、ソレハ數字ヲ一々申上ゲレバ能ク御分リニナルンデスケレドモ、建設モ近年ニ於ケル最高、改良モ近年ニ於ケル最高、唯私設鐵道買収ダケガ、近年ニ於ケル最低ノ「レコード」ニナッテ居ルノデアリマス、故ニ其點ダケヲ御指摘ニナッテ、何故少イト云フ御叱リヲ受ケマスケレドモ、外ノコトマデ何モシナイト云フ御叱リダカラ、私が一寸憎レロヲ利イタノデスガ、其點ハ茲ニ改メテ釋明スル次第デアリマス

○清水委員 鐵道大臣ガソコマデ改悛サレ

レバ私ハ満足スル、私ハ今アタノ白狀爲サレタ點ヲ本會議デ申シタ、サウシタ所ガアタガ逆襲サレルモノデアリマスカラ、中々小理篇ヲ仰ッシタルナト思ッテ、一言申上ゲタヤウナ次第デアリマス、サウシタ觀念ヲハッキリシテ置ケバ能ク分ル、私ハ民政黨デアリナガラ、大臣ヲ褒メナイデドウト仰ッシタルケレドモ、大臣ニ對シテハ此前ノ豫算委員會ノ時ニ、其點ニ於テハ十分御褒メ申上ゲテ置イタ、私ハソレデ感謝ノ念ハモウ濟ンデ居ル積リナンデアアル、今日ハ又別ノ方面カラ申上ゲタノデアアル、但シ私が實際憂ヘテ居ルノハ、民政黨ノ連中ガ堅實堅實ト言フ爲ニ、動トモスルト我國ノ經濟界ガ、折角景氣ニ向ッテ來タ其鼻柱ヲ抑ヘラレヤシナイカ、此處ヲ止リトシテ不景氣ニ向フヤウニ導キハセヌカ、私ハ其點ヲ最も憂ヘテ居ル一人ナノデアリマス、ソレデ私ハ民政黨ノ黨員ノ中デモ積極主義ヲ最も主張シテ居ル一人デアアル、民政黨ハ消極的ノヤウニ聞エテハ不景氣ニ導キハセヌカ、其點ヲ私ハ最も憂フルノデアリマス、故ニ此一言ヲ爲スノデアリマシテ、敢テ民政黨ノ節制ニ從ハナイノデハナイ、進ンデ我國ノ景氣ヲ好クシテ行キタイト云フ誠意カラ、サウ云フコトヲ憂フルノ餘リ、此言ヲ

爲スノデアリマスカラ、何卒惡シカラズ御諒承ヲ願ヒマス、幸ニ内田鐵道大臣ハ民政黨ノ政策ニ御共鳴シテ下サルコトヲ、私ハ衷心カラ感謝ノ意ヲ表シテ、別ニ他意ナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

此機會ニ同僚ノ堤君ガ、鐵道買収ニ關スル御方針ニ關シテ關聯シテ質問シタイト申シテ居リマスカラ、委員長何率御許ヲ願ヒマス

○名川委員長 堤君ノハ關連シテ質問デスカ——ソレデハ委員外デスケレドモ、發言ヲ許可致シマス——堤君

○堤康次郎君 只今鐵道大臣ガ鐵道ノ買収ハ何カ關聯シタモノハ將來買収スルト云フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、一寸私ソコヲ開漏シタノカヨク分ラナカッタノデアリマスガ、ソレハドウ云フ意味ナノデアリマセウカ

○内田國務大臣 堤サンガ御開漏シタカ御開達ニナッタノハ尤デス、斯ウ云フ専門語ヲ使ハレタノデ、私モ鐵道省ヘ入ッタ時ニハ分ラナクテ開返シタヤウ字デアリマスガ、是ハ専門語デ鐵道省デ初メテ覺エタ字デアリマス、運輸系絡上ト書イテアル、運輸系絡ト申セバ一番簡單デスケレドモ、因習的ニ斯ウ云フ運輸系絡上——系統ト云フコト

ト連絡トヲ合セテ用フルモノト見エマスカ、吾々ハ平タク運輸連絡ト云フ意味デ使ッテ居リマス、而シテ運輸系絡上ノ必要及建設上ノ必要、此二ツノ目的ヲ以テ買収スルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○堤康次郎君 サウスルト昭和十一年度カラハ系絡上必要ナモノハ更ニ考慮シテ見ヨウ、斯ウ云フ御趣旨ト承ルノデアリマスガ、併シ鐵道大臣ガ御就任ニナリマシテカラ約半歳ヲ經過致シテ居リマス、鐵道大臣ハ頭ノ閃キノ早イ理解ノ速ナ方デアルト云フコトハ、皆ガ齊シク認メテ居ル所デアリマス、今年度ニ於テハ建設モ買収モ極ク少ナイ、ソレハ民政黨カラハ褒メラレルカモ知レナイト云フ只今ノ御言葉デアリマシタガ、是ハ民政黨ノ財政々策ヲ余リ能ク御存ジナイノカモ知レナイ、國務大臣デアラセラレルノダカラ、民政黨ノ財政々策モ能ク知ッテ居テ貴ハナクチャナラヌ譯デアリマスケレドモ、ソコマデハ行届キマスマイ、ソコデ此機會ニ於テ民政黨ノ財政々策ト云フモノヲ説明ヲシテ置キタイト思フノデアリマスガ、是ハサウ窮屈ナモノデハナイ、民政黨ノ財政々策ハ公債ニ關シテハ一定ノ方針ヲ有ッテ居リマス、ソレハ赤字公債ハ成ベク減ス、斯ウ云フノガ公債ニ關シマシテノ

政策デアリマス、是ハ當リ前ノコトナンデス、赤字公債ヲ成ルベク殖サウナント云フ財政々策ガアルベキ筈ハナイ、斯様ナコトハ言ハナイデモ當リ前ノコトデアリマシテ、決シテ國家有用ノ施設ヲモ公債ヲ恐レテ、公債ニ依ッテノ仕事ハ總テヤラナイト云フノガ民政黨ノ政策デハナイノデアリマス、私ハ此點ニ於テ鐵道大臣ニ若シ誤解ガアルト云フト、非常ニ残念ナコトデアルト思フノデアリマス、私ハ將來必要ナコトハ建設モスルガ宜シイ、又系絡上必要デアルモノハ買収シテ公債ヲ發行スルコトモ敢テ差支ナイト思フ、要スルニ唯民政黨ハ消化力モナイノニ無暗ニ公債ヲ増發シテ、惡性ノ「インフレーション」ヲ起スコトハ宜クナイト言フダケデアリマシテ、國家有用ノ施設ヲモ公債ヲ發行シテヤッテハイケナイト云フ趣旨デハ決シテナイノデアリマス、ソコデ私ハ相當ノ施設ヲ鐵道省トシテハ御遣リニナラナケレバナラスモノダト思フ、鐵道大臣ハ何カ財政上公債ヲ發行スルト云フコトニ對シテ、少シ消極ニカブレテ居ラル、ノデハナイカト思フノデアリマスガ、其點ニ付テ一應御考ヲ伺ッテ見タイノデアリマス

○内田國務大臣 元來鐵道ノ建設線ハ大體ニ於キマシテ異例ナ年モアリマシタガ、大體ノ建設ハ公債デアル、改良ハ益金デアルト云フノガ、從來ノ建前ニズツナッテ來テ居リマスノデスガ、建設線ガ昔ハ有利ナ線ガ上ッテ居ッタノデアリマスケレドモ、有利ナ線ガ段々ナクナッテ來テ、此節ハ不經濟線ガ建設線ニ上ルコトニナッタノデアリマス、併シ國有鐵道トシテ儲カル線バカリヤッデ、儲カラナイ線ハヤラナイト言ッテ居ルコトハ、國有鐵道ノ本旨デハナイ、申スマデモナク地方府縣ヲ開發シテ、國利民福ヲ増進スルノガ國有鐵道ノ本旨デアアルノデスカラ、未開ノ地デ鐵道ヲ建設シテ、サウシテ府縣ヲ開發シタイ、少々算盤ニ合ハナクテモヤラナクテハナラス、斯ウ考ヘテ居リマス、併シソレヲ無限ニヤッテ鐵道財政ガドウナラウト構ハズヤッテシマッデハ、元モ子モナクナッテシマフカラソレモヤレナイ、ソコデ私ハ改良ハ固ヨリ益金ノ一部デヤッテ行カナケレバナリマセヌガ、建設線ハ算盤ノ探レル經濟線ハ、固ヨリ是ハ生産公債デアラカラ公債ニ依ッテヤッテ行ク、併シ國家ニ奉仕スル意味ニ於テ不經濟ナ算盤ニ合ハナイ線ヲ引イテ行クト云フノヲ、無限ニ之ヲ利子ノ付ク公債デヤッテ行ッテハ、只今申上ゲタ通り鐵道財政ガ引繰返ッテシマフ、仍デ此府縣ヲ開發スル所ノ社會國家奉仕ノ意味ノ

犧牲ノ建設線ハ、利子ノ付ク公債デヤラナイデ益金ヲ以テヤッデ行ク、斯ウ云フコトヲ私ハ大體ノ建前ニシテ進ンデ居リマス、デスカラ私ハ決シテ公債ヲ恐ル、ノデハアリマセヌ、生産公債ナラバ即チ算盤ニ合フ線デアルナラバ、公債ヲ募集シテヤッデ行クコトニ付テハ私ハチットモ躊躇致シマセヌガ、算盤ニ合ハナイ、損ヲドシシテ來テ今後鐵道財政ガドウナルカ分ラナイト云フヤウナ線ヲ、無暗ニ公債ヲ發行シテヤルト云フコトハ慎ムベキコトデアッテ、ソレハ益金ヲ以テヤルナラバ自ラソコニ安全性ガアル、斯ウ考ヘテヤッデ居リマス

○堤康次郎君 引合ハナイ線ヲヤルコトハ鐵道財政ヲ危殆ニ導クモノデアルカラ、注意シナケレバナラスト云フ御説ハソレハ御尤デアリマス、併ナガラ鐵道會計ハ獨立會計デ一ツノ事業ノ主體ニナッテ居ルノデアリマスガ、申スマデモナク是ハ國家ガ經營シテ居ルノデアリマスカラ、唯鐵道財政ト云フコトニ餘リ囚ハレテモイカヌ、ヤハリ今鐵道大臣モ御述ニナリマシタ通り、國家ノ産業ノ開發ト云フコトモ大ニ考慮ニ入レテ、全體ヲ見テ相當ノ仕事ヲ御遣リニナルコトガ必要デヤアルマイカト思フ、世間デハ大分景氣ガ直ッテ來タト申シテ居リマ

スケレドモ、内務省ノ統計ニ依リマスト失業者ノ數ハ今尙ホ三十萬人以上モアルノデアリマスカラ、將來此運輸ノ連絡上又産業ノ開發上必要ナ線ハ建設セラル、コトモ宜カラウ、又サウ云フ線ニ付テハ公債ヲ發行シテ、之ヲ買收セラレルコトモ宜カラウト私ハ思フノデアリマス、鐵道大臣ハ財政經濟ノ方面ニモ通曉シテオイデニナルノデアリマスガ、何分國務ノ御多端ナ方デアリマスカラ、私ハ公債ニ付テ大體ノ數字ノ概念ダケヲ此機會ニ申シテ置キタイト思フノデアリマス、今年ノ赤字公債ハ五億四千萬圓デアル、昭和六年カラ赤字財政ガ始ッタノデアリマスガ、昭和十年度末マデ行キマスト赤字公債ハ二十一億四千萬圓殖エルコトニナル、大體公債ノ全體ハ昭和六年度ノ末カラ昭和九年度ノ末ニナルト約三十億殖エル、ソレカラ十年度ノ末ニナルト約四十億殖エル、ソコデ公債ニ對シテ無闇ニ悲觀スル人ハ、是ガ爲ニ今ニモ國ガ減ビルヤウニ言フ人モアリマシタ、是ガ明治大正ノ時代ニ斯ウ云フ公債ノ大増加ガアリマシタナラバ非常ナハ影響ヲ來シタト思フノデアリマス、即チ政府ガ公債ヲ發行シテ事業ヲヤルト、ソレガ爲ニ物價ガ騰貴スル、輸入ガ増加スル、正貨ガ

流出スル、爲替ガ低落スル、斯ウ云フ働キヲ起シタノデアリマスガ、併シ明治、大正ノ時代ニ於テサウ云フ經濟現象ヲ起シタ根本ハ、國ノ生産ガ減少シテ居ル、斯ウ云フコトデアリマシタガ、今デハ生産ノ方ガ需要ヨリ増加シテ居ル、政府ガ是ダケノ公債ヲ發行シテ是ダケノ事ヲヤリマスケレドモ、少シモ經濟上惡イ現象ヲ起シテ居ナイ、大シタ輸入超過ニモナッテ居ナイ、昭和七年、八年ノ輸入超過ガ合計一億三千六百萬圓ダガ、併シ貿易外ノ經常ノ收入ガ一億八千八百萬圓アッテ、差引五千餘萬圓ハ國際的ニ受取超過ニナッテ居ル、ソレカラ昨年度ノ輸入超過ハ一億四千二百萬圓デアルケレドモ、是モ矢張貿易ノ表以外ノ經常ノ收入ガ是レ位アリサウデアルカラ、差引國際貸借ノ上ニ於テハ支拂勘定ニモナルマイ、斯ウ云フ譯デ、國際貸借上少シモ惡イ結果ヲ來シテ居ナイノデアリマス、又公債ヲ増發スルト結局兌換券ガ膨脹シテ「インフレーション」ニナルト云フテ恐レル人モアリマスケレドモ、併シ是モヤハリ昭和六年ノ兌換券ノ發行ノ平均ガ十億四千萬圓デアル、昭和九年ノ平均ハ十一億七千萬圓デアッテ、僅ニ一億三千萬圓ヨリ兌換券ハ殖エテ居ナイ、隨テ物價ガ割合ニ騰貴シテ居ナイ、幾分騰貴シテ居

リマスケレドモ、爲替ノ低落シタコトヲ計算シテ見ルト、金物價ノ基礎ニ於テハ却テ低落シテ居ルト云フヤウナ狀況ニアル、サウシテ經濟界ニ於テハ惡イ影響ハナイモノデアリマスカラ、貿易ハドンノ發展シテ居ル、昭和六年ノ貿易ガ二十四億九千萬圓デアルガ、昭和九年ノ貿易ガ四十六億五千萬圓、ザット倍ニナッテ居ル、併シ世界的ニハドウカト云フト、世界的ニハ非常ニ貿易ハ減ッテ居ル、千九百二十九年ニ世界ノ貿易ノ總額ガ六百八十億弗ノモノガ、翌年ニハ五百五十億ニナリ、更ニ四百九十億ニナリ、二百六十億ニナリ、一昨年ハ二百二十億弗ニナッテ居ル、昨年ノ統計ハマダ出來テ居リマセヌガ、是ハ又一昨年ヨリ減ッテ居ルヤウデアル、世界ノ貿易ハ近年ザット三分ノ一ニ減ッテ居ルノニ、日本ノ貿易ハ倍ニナッテ居ル、少シモ日本ノ經濟界ニハ惡イ影響ハ來シテ居ナイ、然ルニ、少シ公債ガ殖エタカラト云ッテ是ガ爲ニ國ガ減ビルヤウニ心配スル者ガアルケレドモ、是ハ洵ニ眼ノ著ケル所ガ狹イト私ハ思フノデアリマス、日清戰爭ノ前ハ日本ノ公債ハ二億三千五百万圓デアッタガ、昭和十年ニナルト百億ニナル、約五十倍デアル、併シ是カラ先キ此率デ日本ガ發展シテ行クト、モウ四十年經ツト

日本ノ公債ガ五千億ニナル、日本ノ公債ガ是カラ五千億ニナルト言ッたら、消極論者ハ腰ヲ抜カシテ驚クカモ知レマセヌガ、併シソレナラ、公債ガ恐シイカラトシテ、日本ノ國力ヲ日清戰爭前ニ引戻シタイトハ如何ナ消極論者ト雖モヨモヤ言フマイ、日本ノ國力ガ今勃興ノ波ニ乗ッテ居ル時デアルカラ、無闇ニ公債ノ増加ヲ悲觀スルコトハ考物デアアル、無闇ニ樂觀スルコトモ宜クアリマセヌガ、國運ノ前途ト云フコトヲ考ヘテ、無闇ニ悲觀ニ陥ルト云フコトハ宜クナイコトデアアル、殊ニ鐵道公債ノヤウナ生産的ノ公債ハ私ハ相當發行ヲシテモ差支ナイ、大ニ此交通政策ヲ實現セラレルヤウニ願ヒタイト思フノデアリマスガ、鐵道大臣ハ是點ニ付テ將來ハドウ云フ御考ヲ有ッテオ出デニナリマスガ、極ク大體ノ經綸ヲ伺ヒタイ

○内田國務大臣 只今堤サンガ政治上竝ニ政界ニ於ケル、又經濟界ニ於ル御經驗ヨリシテ的確ナル數字ヲ舉ゲテ、日本ノ經濟界ノ過去將來ニ付テ、又財政ノ將來ニ付テ御論及下サイマシテ、洵ニ參考ト相成ッタ次第デアリマスガ、實際世ノ中ハ變ルモノデシテ——決シテ私ハ皮肉ニ申上ゲル譯デアアリマセヌ、堤サンハ民政黨中ニ於テノ經濟ノ積極論者デアアル、流石ハ實務ニ携ッテ來

ラレタ人デ、唯官界ノミニ居ラレタ人ノ御經驗トハ違フ、私ハ黨籍ハ偶々異ニシテ居リマシタガ、謹ンデ敬意ヲ表シテ居ッタ次第デアリマスガ、從來——有體ニ申シマスト、一部世間デハ、數年前ハ公債、殊ニ赤字公債トデモ言ヘバ本當ニ國カラ血ガ出ルヤウニ震ヘル、又爲替ガ低落スレバ國家ハ滅ビルヤウニ心配シタガ、此節ハ爲替ガ低落シタ方ガ貿易ガ盛ンニナッテ具合ガ好イト喜ンデ、爲替ヲ下ゲルノニハドウスルカト云フヤウナ說サヘ出テ來ル次第デ、世ノ中ハ洵ニ變ルモノト、感慨ニ堪ヘマセヌガ、動モスルト公債政策ニ付テ消極ト申スト言ヒ過ギマスカモ知レマセヌガ、堅實政策ヲ採ラレル民政黨ノ有力ナル堤君ヨリ、斯クノ如キ積極的ノ御意見ヲ拜聽スルコトヲ得マシタコトハ、今後私ガ鐵道政策ヲ立テル上ニ於テ、洵ニ有益ナル御高説ヲ承ッタモノト存ズルノデアリマス、ソレデ私ハ公債政策ニ付テハ、全般ノコトハ私ノ所管デゴザイマセヌカラ申上ゲマセヌガ、從來トモ、私ハ生産公債ハ決シテ躊躇スル必要ハナイト考ヘテ居リマス、唯不生産公債、赤字公債ト言ヘバ、成ベクハ制限シナケレバナラス、是ハ申スマデモナイノデアリマス、即チ鐵道ニ於テモ生産的ノ線ナレバ、只今

申上ゲタ通り公債デ以テドン／＼ヤッテ行カウト考ヘテ居ル、私ハチヨットモ怖ガリマセヌ、併シ唯ハ突込線其他デ以テ、鐵道トシテハチヨットモ益ガナイガ、民衆ノ爲ニ、地方開發ノ爲ニ、五年十年ハ算盤ニ合ハナイガ、國家奉仕トシテ、益金ヲ一般會計ニ繰入レタ意味デヤラナケレバナラスト云フ線モ幾多是カラゴザイマス、東北、北海道ニ於テハ確ニサウデアリマス、北海道ノ如キ所ニ鐵道ヲ敷イテ利益ヲ舉ゲルト云フコトハ中々望ムコトハ出來ナイ、斯ウ云フ線ニ對シテヤル時ニハ、他ノ生産的ノ線路ト同一視スルコトガ出來ズ、是ハ絕對的ト云フノデアアリマセヌガ、成ベクハ是ハ利子ノ付ク公債ニ依ラナイデ、益金デヤッテ行クベキモノダ、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、生産公債、即チ今後「フニヴァブル」ノ仕事ヲスルモノニ對スル公債ハ決シテ私ハ躊躇スル者デハゴザイマセヌ

○堤康次郎君 能ク諒解致シマシタ、ソレカラ私ハ此間地方へ行ッテ事實ヲ聞イテ實ハ交通政策上驚イタノデアリマスガ、ソレハ鐵道ノ線路ダトカ、場所ヲ申上ゲルコトハ控ヘタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、或ル私設鐵道ガアル、其處ヲ經由シテ行キマスルト僅ニ五十哩デ貨物ガ到着スル、然ルニ是

ハ私設鐵道デアアルガ故ニ、グルット省線デ遠方ヲ廻ル、三倍モ廻ル、百五十哩モ廻ル、ドウシテサウ云フコトニナルカト云フト、遠距離運賃遞減法トカ云フコトデ其三倍ノ距離ヲ通ッテモ省線バカリデ行ッタ方ガ却テ安クナル、私設鐵道ヲ通ルト云フコトハ却テ高クナルト云フコトヲ聞イテ實ニ驚イタノデアリマス、私設線デアリマシテモ、省線デアリマシテモ齊シク是ハ國家ノ交通ニ寄與スルベキ路線デアアル、ソレナラバ其短イ所ヲ通ッテ行ッタ方ガ經濟デハナイカ、ソレニガタ／＼遠廻リヲシテ貨車モ毀損スルシ、石炭モ要ルシ、人件費モ餘計掛ル、ドウシテサウ云フ愚ナコトヲスルカト言ウテ、私ハ實ニ驚イタノデアリマスガ、サウ云フコトガ行ハレテ居ルト云フコトヲ鐵道大臣ハ御存ジデアアルカドウカ伺ッテ見タイノデアリマス

○内田國務大臣 御說洵ニ御尤デ只今御指摘ニナッタ線路モ、私ハ略々想像ガ付イテ居リマスガ、是ハ世間ニ又「センセーション」ヲ惹起ストイケマセヌカラ、廊下ヘ出タナラバ、斯ウダラウト云フ程度ノ御話ハオ互ニ交換スルカモ知レマセヌガ、此席上此線ダナト私ガ思ッテ居デモ、私ハ申上ゲ兼ネルト云フコトヲ御諒承願ヒタイノデアリマ

ス、私ハ斯ル不便ガ世ノ中ニ存在シテ居ルコトモ承知シテ居リマス、但シソレガイツデゴザイマセヌデ、彼方ニモ此方ニモアリマスカラ、ソレデ一ツヤルトナレバ是デ止ラズ、アレデ止ラズトナリマスノデ、私ハ之ヲ篤ト本年中ニ研究シテ、ソレカラ今年ノ運輸收入等ヲ顧ミテ、昭和十一年度ノ計畫ヲ樹テヨウト存ジテ居リマス

○堤康次郎君 是ハ私ハ別ニドレヲドウト云フコトヲ申上ゲルノデハアリマセヌシ、又國ノ建前カラ價額ノ點ナドハ成ベク安イコトガ必要デアリマスガ、兎モ角國全體ノ交通政策ト云フ點カラ考ヘテ、偏ラナイデ、公正ナル交通政策ヲ御樹テニナル必要ガアルト私ハ思フノデアリマスガ、併シドウモ鐵道大臣ガ御就任ニナリマシテカラ相當ノ時日ガアリマスルガ、ソレダケノ計畫ガ樹タナイ鐵道大臣トハ私ハ見受ケナイノデアリマス、併シ之ヲオ遣リニナラヌト云フコトハ、私ハ別ニ意味ガアルノデハナイカ、其意味ト云フコトハ、由來鐵道買収ト云フト何カ利權ガ伴フヤウニ世間カラ誤解ヲスル、ソコデ先ヅサウ云フ問題ニハ觸レナイ方ガ宜カラウト云フヤウナコトガ多分ニ支配シテ居ルンデヤナイカ、ソコデ又議員モサウ云フコトヲ熱心ニ言フト、何カ頼マレ

テ居ルノデハナイカト云フ疑ガ起ルトイケナイカラ議員モ之ヲ遠慮スル、當局ニ於テモ勿論之ヲ躊躇スルト云フヤウナコトデ、五十哩デ行ケル所ヲ百五十哩モ態々ガタガタ貨車ヲ引張ッテ行クト云フヤウナ不都合ナコトガ現出シテ居ルノデハナイカと思ヒマス、併シ絶對ニサウ云フコトヲ心配スルナト云フノデハアリマセヌ、矢張サウ云フヤウナコトノ爲ニ社會ノ人心ニ疑惑ヲ起サスト云フコトハ、是ハ考ヘナケレバナラヌノデアリマスガ、併シ餘リサウ云フコトニ囚ハレテ必要ナコトモヨウヤラヌト云フヤウナコトデハ、是ハ又面白クナイノデアリマシテ、今日マデ鐵道買収ト云フコトニ付テハ、殆ド手ヲ觸レラレナイト云フコトハ、サウ云フコトノ御懸念ガ多分ニアルノデハナイカと思ヒマスガ、鐵道大臣カラ率直ニ御考ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○内田國務大臣 只今堤サンヨリ、又實ハ此間清水サンヨリ本會議ニ於テ、私ノ私設鐵道買収及私設鐵道ノ從來ノ世評ニ對スル私ノ立場ニ對シテ大變御同情ノ御言葉ヲ賜ッタコトヲ深く感謝スルノデアリマスガ、私ハ自ラ顧ミテ恥ヅル所ナクンバ一向差支ナクヤルト云フノガ私ノ決心デアリマスガ、併シ私が就任後マダ之ヲ決メルマデニ

日ガ淺ク、是ト是ト是ト竝ベラレタ時ニハドチラカラ手ヲ著ケテ宜イカ、ソレハ容易ニ——此判斷ニ苦シムノハ當然デアリマス、故ニ私ハ而モ運輸收入ガ的確ニ斯ノ如キ増收ヲ得ルト云フコトガマダ見込付イテ居リマセヌノデ、ソコデ私ハ又一方ニ於テ關西ノ風水害、東北ノ凶作等幾多豫期セザル災害ニ見舞ハレタモノデスカラシテ、先ヅ私設鐵道ヲ買収スルト云フコトハ兎モ角モ不便デモ其處ニアルノダカラ是ハ後廻シニシテモ、先ヅ差當リ風水害ヤ旱害及冷害ニ悩ンデ居ル其方ヲ救済スル方ガ——同ジ子供デモ先ヅ飢ニ泣イテ居ル子供ニ食ヲ與ヘル方ガ先ダ、斯ウ云フ氣持デ食ノ方ガ先デ、著物ノ方ガ後ト云フ氣分ヲ有ッテ、旱害風水害冷害ニ私ハ千數百萬圓ヲ昨年ノ秋カラ冬ニ掛ケテ費シマシテ、本年モ東北ノ方ノ線上等ヤルヤウナ次第デアリマシテ、私ガ總テニ消極方針ヲ執ッテ居ル意味デナク、サウ云フ方ニ向ッテハ私ハ自ラ顧ミテ自分トシテノ勇氣ハ揮ッテソレニ向ッテ次第デアリマス、唯私設鐵道買収ト云フコトダケニ於テ、私ガ御期待ニ反シタト云フコトハ、私ガ今度ノ運輸收入ヲ見、而シテ明年ノ計畫ヲ樹テタ時ニ於テ御論ジヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス

○堤康次郎君 能ク分リマシタ、風水害ナド困ッテ居ル所ヲ先ニシナケレバナラヌ、買収ニ對シテハマダ手ガ届カナカタノダト云フ御説明デ能ク諒解ヲ致シマシタガ、併シ此鐵道ノ買収ナドト云フコトハ、洵ニソレヤルト云フコトニ付テハ、私ハ鐵道大臣ニ御同情ニ堪ヘナイノデアリマスガ、併シ是ハ誰カノ手デ敢然トシテ行ハナケレバ、何時マデモ交通政策上不合理ナコトガ行ハレテ居ルノデアリマシテ、私ハソレヲ遣ルノニハ自ラ時機ヲ選バナケレバナラヌ、併シ此内閣ニ於テ此鐵道省ノ幹部ニ於テ御遣リニナルコトガ、私ハ適シテ居リハセヌカト思フノデアリマス、先ヅ鐵道買収ヲヤルト云フコトニナレバ、鐵道大臣トカ或ハ監督局長トカ、次官トカガ主トシテ管掌ニナル譯デアリマスガ、其人ヲ得ナケレバ、是ハ餘程注意ヲシナケレバナラヌ、併シ現在ノ監督局長ハ誰シモ廉潔ナ公平ナ人デアルト云フコトヲ皆認メテ居ル、事務次官ハドウカト言ヘバ、是ハ二十萬從業員ノ尊敬ノ的トナッテ居ル人格ノ人デアアル、鐵道大臣ハ、此人ハ別ニサウ暗イコトヤ、陰險ナコトノ出來サウナ人デハナイ、第一聲ガ高過ギル(笑聲)斯ウ云フ人ハ誰シモ疑フ有タナイ、併シ進ンデヤッテ何カ疑ハレハシ

ナイカト云フコトデ、能ク小柄巧ナ者ガ明
哲保身ダトカ何トカ申シマスガ、若シ左様

ナコトニ囚ハレテ居ルト云フヤウナコトデ
アレバ、是ハ内田鐵道大臣ハ世ノ中ノ期待
ニ背クモノデアル、内田鐵道大臣ガ道學者

ノヤウナコトヲ言ハレタッテ、誰モソソナコ
トヲ感心シヤシナイ、内田サント云フ人ハ

正シイコト、善イコトト思ウタラ何デモ大ニ
ヤル人ダト云フコトヲ、皆ガ期待ラシテ居

ルノデアリマスカラ、ドウカ若シサウ云フ
ヤウナ御懸念ガアルト云フコトデアレバ、

是ハ全ク意味ヲナサナイコトデアリマスカ
ラ、公正ニ考ヘテ、必要ナコトハドシ

オ遣リニナルコトガ必要デアラウ、民政黨
ハ此内閣ニ對シテハ、準與黨ノ立場ニ居リ

マスルケレドモ、決シテ民政黨ノ政策ガ消
極ダナント云フコトニ御考ニナル必要ハ少

シモナイノデアリマス、要スルニ交通政策
ト云フ大局カラ見テ、必要ナコトハ大ニ積

極的ニヤッテ貰ヒタイ、斯ウ云フ私ノ趣旨ヲ
能ク御諒解ヲ願ッテ、公平ナ立場デ善イコト

ハドシ、實現シテ貰ヒタイト云フ希望ヲ
申述ベテ私ノ清水君ノ御質問ニ關聯シテノ

質問ハ是デ打切リマス

○名川委員長 清水君、マダアリマスカ

○清水委員 アリマスナ、是カラ本論ニ入

リマス、本當ノ質問ニ入ルノデス、併シソ
レハ次ギノ機會デ……

○名川委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致
シマス、次會ハ追ッテ公報デ御通知申上ゲマ
ス

午後四時五十一分散會

